

# 府中市地域公共交通総合連携計画

平成26年3月

府中市地域公共交通活性化協議会

府中市



# 目 次

序章 計画の概要.....	1
1. 計画の背景と目的.....	1
2. 計画区域.....	1
3. 計画期間.....	1
第1章 府中市の現状と課題.....	2
1. 府中市の概況.....	2
(1) 位置・地勢.....	2
(2) 人口と高齢化.....	3
(3) 通勤通学流動.....	4
(4) 主要施設.....	6
2. 府中市の公共交通の現状.....	7
(1) 公共交通路線網.....	7
(2) 鉄道.....	8
(3) バス路線.....	9
(4) 予約型乗合タクシー.....	10
(5) スクールバス.....	11
(6) 交通空白便地域.....	12
(7) 公共交通関連計画・事業.....	15
3. 公共交通に関する住民アンケート調査.....	17
(1) 調査概要.....	17
(2) 調査結果.....	19
4. 市の公共交通の課題.....	27
(1) 通うほど魅力輝くまちづくりを支えるツールとしての公共交通.....	27
(1) 人口の減少と高齢化の進展.....	28
(2) 通院・買物に合わせた運行.....	28
(3) 交通空白地域への対応.....	29
(4) 利用者の減少への対応.....	30
(5) 運行経費の低減と適正配分.....	31
(6) 利用促進.....	31
第2章 計画の基本方針.....	32
1. 基本理念.....	32

2. 基本目標.....	32
3. 数値目標の設定.....	33
第3章 計画に位置付ける事業.....	34
1. 施策体系.....	34
2 事業スケジュール.....	35
3. 東部・中部地域の交通再編.....	36
(1) 府中ぐるっとバス.....	37
(2) 府中金丸線.....	39
(3) 栗柄線.....	40
(4) 緑ヶ丘・南宮台団地線.....	41
4. 西部地域の交通再編.....	42
(1) 諸田線.....	43
(2) 府中上下線.....	44
(3) ふれあいタクシー（空木・荒谷）.....	45
5. 北部地域の交通再編.....	46
(1) おたっしゃ号.....	47
6. 公共交通利用促進施策の展開.....	49
(1) 運賃体系の見直し.....	49
(2) 公共交通情報の住民周知と意識啓発.....	49
(3) 主要バス停の環境整備.....	50
第4章 推進体制.....	51

## 序章 計画の概要

### 1. 計画の背景と目的

府中市では、平成 21 年 3 月に策定した府中市地域公共交通総合連携計画に沿って様々な交通施策を進めてきましたが、計画策定から 4 年が経過し、公共交通を取り巻く社会情勢も変化しています。

本計画は、これらを踏まえて、これまで進めてきた交通施策を検証するとともに、施策の有効性・効率性の観点から見直しが必要と認められる施策について改善策を検討し、効率的でより利便性の高い府中市の公共交通体系を構築することを目的としています。

計画の見直しにあたっては、地域間格差の是正や交通資源の適正配分の観点から、公共交通が利用できない、または、利用しにくい交通空白地域<sup>1</sup>や需要に見合った交通サービスが提供なされていないと思われる地域を重点的に調査し、その対応策を検討しました。

特に、中心市街地及びその周辺地域は、バス路線網が比較的充実しており、十分なサービスが提供されているように思われがちですが、バス停までの数百メートルという距離は、身体能力の衰えた高齢者にとっては、利用しにくいのが実態です。一方、人口が密集する中心市街地の高齢化率も 30%を越す状況となった今日、高齢者の絶対数も圧倒的に多いこうした地域の公共交通の利用状況やニーズを把握し、需要に見合ったサービスの提供の観点から循環バス路線やその他の路線の見直しを含めて、必要な施策を検討しました。

### 2. 計画区域

府中市全域を対象とします。

### 3. 計画期間

平成 26 年度から平成 30 年度までの概ね 5 年間に計画期間とし、事業に取り組みます。

---

<sup>1</sup> 交通空白地域：本計画書においては、バス停や駅から半径 400 メートル圏外を、路線バスや列車が利用しにくい交通空白地域と定義します。

## 第1章 府中市の現状と課題

### 1. 府中市の概況

#### (1) 位置・地勢

府中市は広島県の東南部内陸地帯に位置しており、北部は、庄原市、三次市、神石高原町に、南部は、福山市、尾道市、世羅町に隣接しています。

面積の大半が山地で、三方を山で囲まれた盆地を形成しており、西北部から東南部にかけて、県内三大河川の一つである芦田川が縦貫しています。その流域の両側には、平野が広がり、美しい山並みを背景に、住宅、商店、工場などが立ち並び、市街地が展開しています。山系は、神石及び世羅方面からのびた中国山脈の余脈で標高 400m～800m に及び小規模連山が市街地の西・南・北部を囲んでいます。

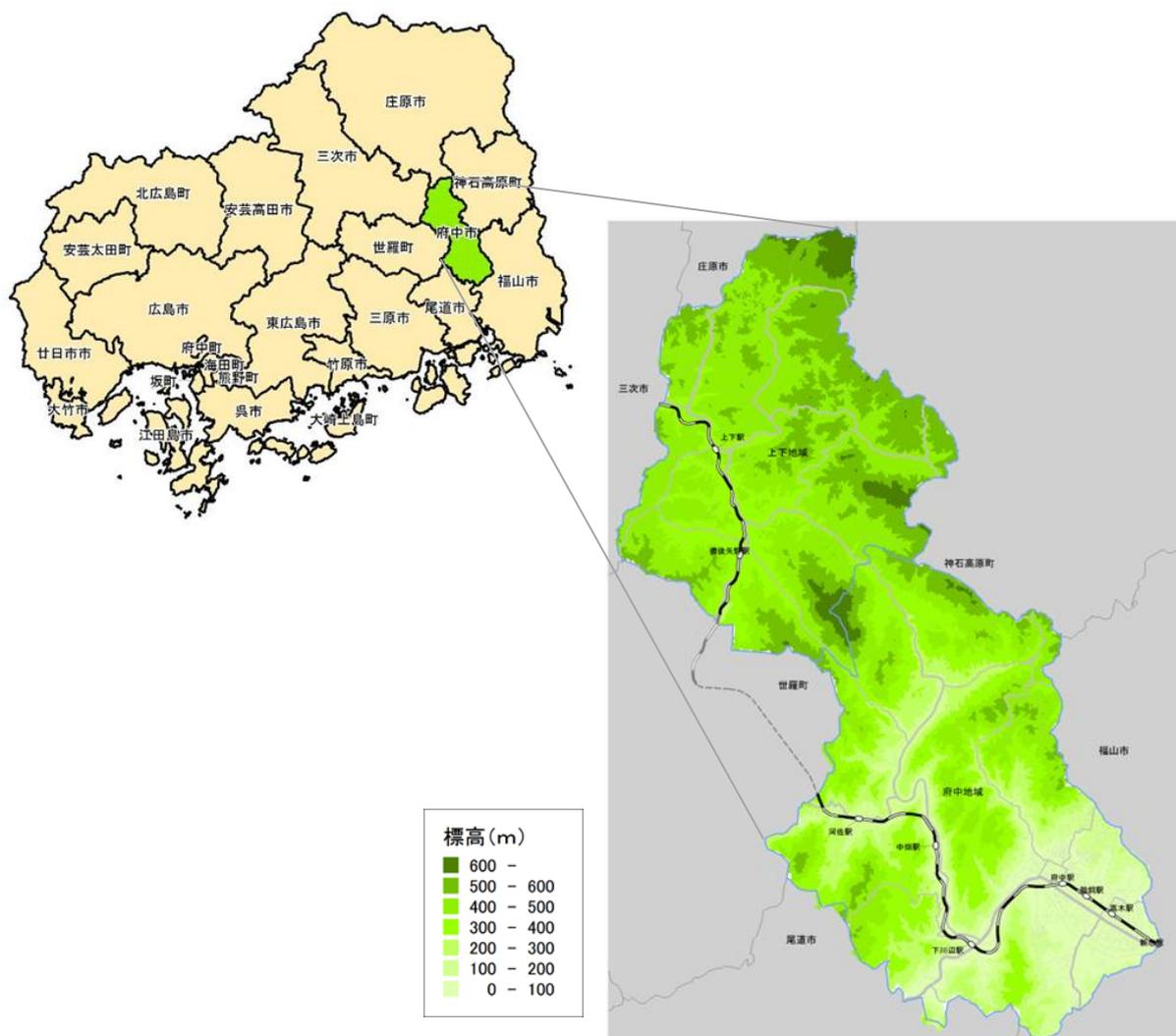


図 1-1 府中市の位置、地勢

(2) 人口と高齢化

平成22年国勢調査の人口は約42,600人と、平成12年からの10年で約5,100人減少しており、平成32年には、約37,600人に減少すると予想されます。

平成22年の高齢化率は31.0%と、平成12年からの10年で7.1ポイント上昇しており、人口が密集する中心市街地の高齢化も進んでいます。

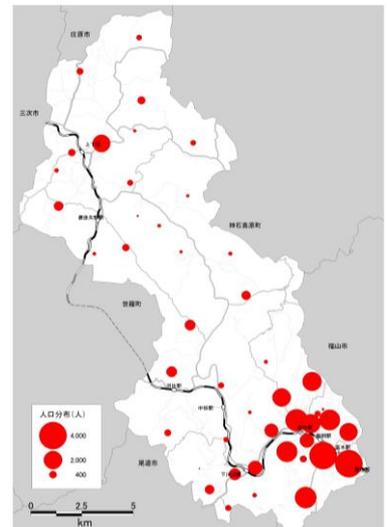
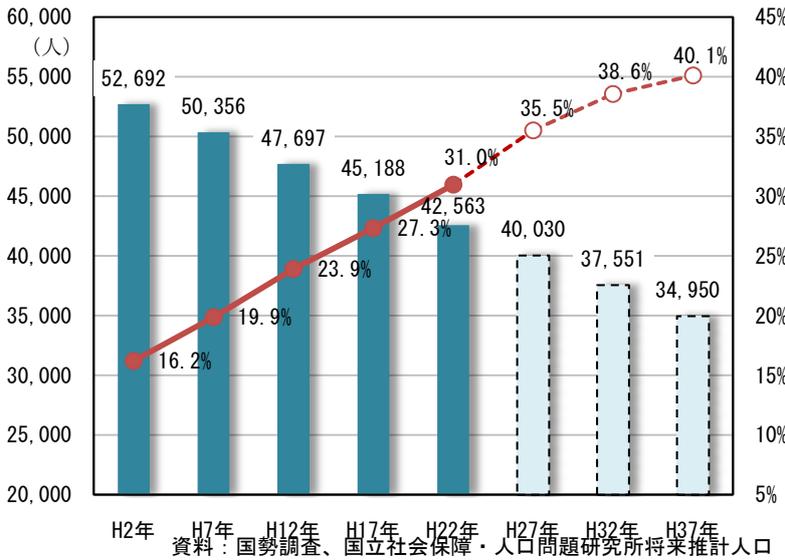


図 1-2 府中市の人口の推移

図 1-3 人口の分布

表 1-1 町別人口・高齢化率

地域	町名	人口	65才以上人口	高齢化率	地域	町名	人口	65才以上人口	高齢化率	
中部	府中町	2,819	1,020	36.2%	西部	河佐町	268	101	37.7%	
	出口町	1,960	704	35.9%		久佐町	776	262	33.8%	
	土生町	2,489	781	31.4%		諸毛町	332	135	40.7%	
東部	広谷町	1,898	558	29.4%		小国町	13	11	84.6%	
	鶺鴒町	2,462	658	26.7%		阿字町	761	258	33.9%	
	元町	2,154	774	35.9%		木野山町	572	254	44.4%	
	本山町	2,117	659	31.1%		行藤町	132	70	53.0%	
	桜が丘一丁目	255	13	5.1%		斗升町	96	50	52.1%	
	桜が丘二丁目	25	2	8.0%		上下町上下	1,876	696	37.1%	
	桜が丘三丁目	47	46	97.9%		上下町深江	368	209	56.8%	
	府川町	1,237	346	28.0%	上下町国留	154	68	44.2%		
	高木町	4,953	1,189	24.0%	上下町矢野	617	243	39.4%		
	中須町	4,067	907	22.3%	上下町矢多田	377	104	27.6%		
栗柄町	2,609	692	26.5%	上下町松崎	118	42	35.6%			
用土町	339	81	23.9%	上下町井永	280	83	29.6%			
西部	目崎町	1,197	380	31.7%	北部	上下町佐倉	40	12	30.0%	
	父石町	1,223	357	29.2%		上下町水永	119	53	44.5%	
	上山町	115	48	41.7%		上下町岡屋	91	40	44.0%	
	荒谷町	128	56	43.8%		上下町階見	228	101	44.3%	
	河南町	273	87	31.9%		上下町二森	98	23	23.5%	
	篠根町	882	224	25.4%		上下町小堀	428	171	40.0%	
	河面町	202	76	37.6%		上下町小塚	239	84	35.1%	
	僧殿町	158	55	34.8%		上下町有福	342	151	44.2%	
	三郎丸町	608	244	40.1%		全	市	42,542	13,178	31.0%

(3) 通勤通学流動

① 常住地・従業地通勤通学流動

< 常住地通勤通学流動 >

府中市在住者の64%が府中市内に通勤通学し、府中市外への通勤通学では、福山市が圧倒的に多く、次いで尾道市、世羅町、三次市の順となっています。

特に高校生以上（15歳以上の通学者）の通学先は、市内より市外が多く、ほとんどが福山市となっています。

< 従業地通勤通学流動 >

市外から府中市内への通勤通学は、常住地同様に福山市が圧倒的に多く、次いで尾道市、三次市、神石高原町の順となっています。

市外からの高校生以上の通学者も福山市からの生徒がそのほとんどを占めています。

表 1-2 通勤通学流動

常住地ベース					従業地ベース				
市町村名	総数	15歳以上 就業者 (人)	15歳以上 通学者 (人)	15歳未満 通学者 (人)	市町村名	総数	15歳以上 就業者 (人)	15歳以上 通学者 (人)	15歳未満 通学者 (人)
合計	21,372	19,806	1,566	3,053	合計	22,427	21,003	1,424	2,989
自市町村	13,689	12,940	749	2,911	自市町村	13,689	12,940	749	2,911
他市町村	7,439	6,633	806	142	他市町村	7,307	6,757	550	9
県内合計	6,083	5,458	625	73	県内合計	7,146	6,597	549	9
広島市	62	42	20	4	広島市	50	46	4	0
呉市	4	1	3	0	呉市	9	9	0	0
竹原市	5	5	0	0	三原市	79	79	0	0
三原市	102	86	16	0	尾道市	606	563	43	2
尾道市	607	594	13	1	福山市	5,509	5,048	461	7
福山市	4,702	4,180	522	68	三次市	280	264	16	0
三次市	205	178	27	0	庄原市	67	63	4	0
庄原市	68	64	4	0	大竹市	2	2	0	0
大竹市	3	3	0	0	東広島市	25	23	2	0
東広島市	13	10	3	0	廿日市市	4	4	0	0
廿日市市	1	1	0	0	安芸高田市	2	2	0	0
安芸高田市	2	2	0	0	海田町	2	2	0	0
江田島市	1	1	0	0	熊野町	1	1	0	0
北広島町	1	1	0	0	世羅町	243	239	4	0
世羅町	209	192	17	0	神石高原町	267	252	15	0
神石高原町	98	98	0	0					
県外合計	169	102	67	0	県外合計	161	160	1	0
その他	244	233	11	0	その他	1,270	1,146	124	69

資料：平成22年国勢調査

②利用交通手段別通勤通学流動

府中市在住者の市内通勤通学における利用交通手段としては、自家用車が63%と最も多く、次いで自転車(11%)、徒歩(11%)の順となっています。

府中市外への通勤通学の利用交通手段としては、自家用車が74%と、市内通勤通学を11ポイント上回っています。次いで鉄道電車の順となっており、移動距離を反映した結果となっています。

表 1-3 交通手段別通勤通学流動

交通手段	常住地ベース								従業地ベース					
	総数	自市区町村 従業通学			他市区町村 従業通学		県内他 従業通学		他県 従業通学		総数	県内他 常住		他県 常住
総数	18,507	11,068		7,439		6,083		169		18,375	7,146		161	
単独:交通手段	16,922	10,299		6,623		5,669		142		17,143	6,698		146	
徒歩	1,286	1,184	11%	102	1%	10	0%	6	4%	1,190	5	0%	1	1%
自転車	1,445	1,253	11%	192	3%	367	6%	38	22%	1,475	214	3%	8	5%
二輪車	668	519	5%	149	2%	64	1%	4	2%	593	74	1%		
タクシー等	12	10	0%	2	0%	18	0%	1	1%	44	34	0%		
自家用車	12,552	7,023	63%	5,529	74%	4,889	80%	68	40%	13,089	5,939	83%	127	79%
乗合バス	125	47	0%	78	1%	2	0%			47				
企業バス	95	68	1%	27	0%	118	2%	5	3%	220	151	2%	1	1%
鉄道電車	511	70	1%	441	6%	129	2%	8	5%	307	236	3%	1	1%
その他	228	125	1%	103	1%	72	1%	12	7%	178	45	1%	8	5%
鉄道電車:2種	544	237		307		272		21		569	318		14	
+乗合バス	27	2	0%	25	0%	22	0%	3	2%	9	7	0%		
+企業バス	12			12	0%	11	0%			3	3	0%		
+自家用車	49	7	0%	42	1%	35	1%	6	4%	39	25	0%	7	4%
+二輪車	7	1	0%	6	0%	6	0%			4	2	0%	1	1%
+自転車	169	17	0%	152	2%	137	2%	9	5%	196	174	2%	5	3%
その他	280	210	2%	70	1%	61	1%	3	2%	318	107	1%	1	1%
3種:交通手段	57	17	0%	40	1%	35	1%	3	2%	28	11	0%		
その他	984	515	5%	469	6%	107	2%	3	2%	635	119	2%	1	1%

資料:平成22年国勢調査

(4) 主要施設

府中駅周辺および上下駅周辺に各種機能の集積が見られ、特に医療機関や商業施設は府中駅周辺の国道486号沿線に集積しています。

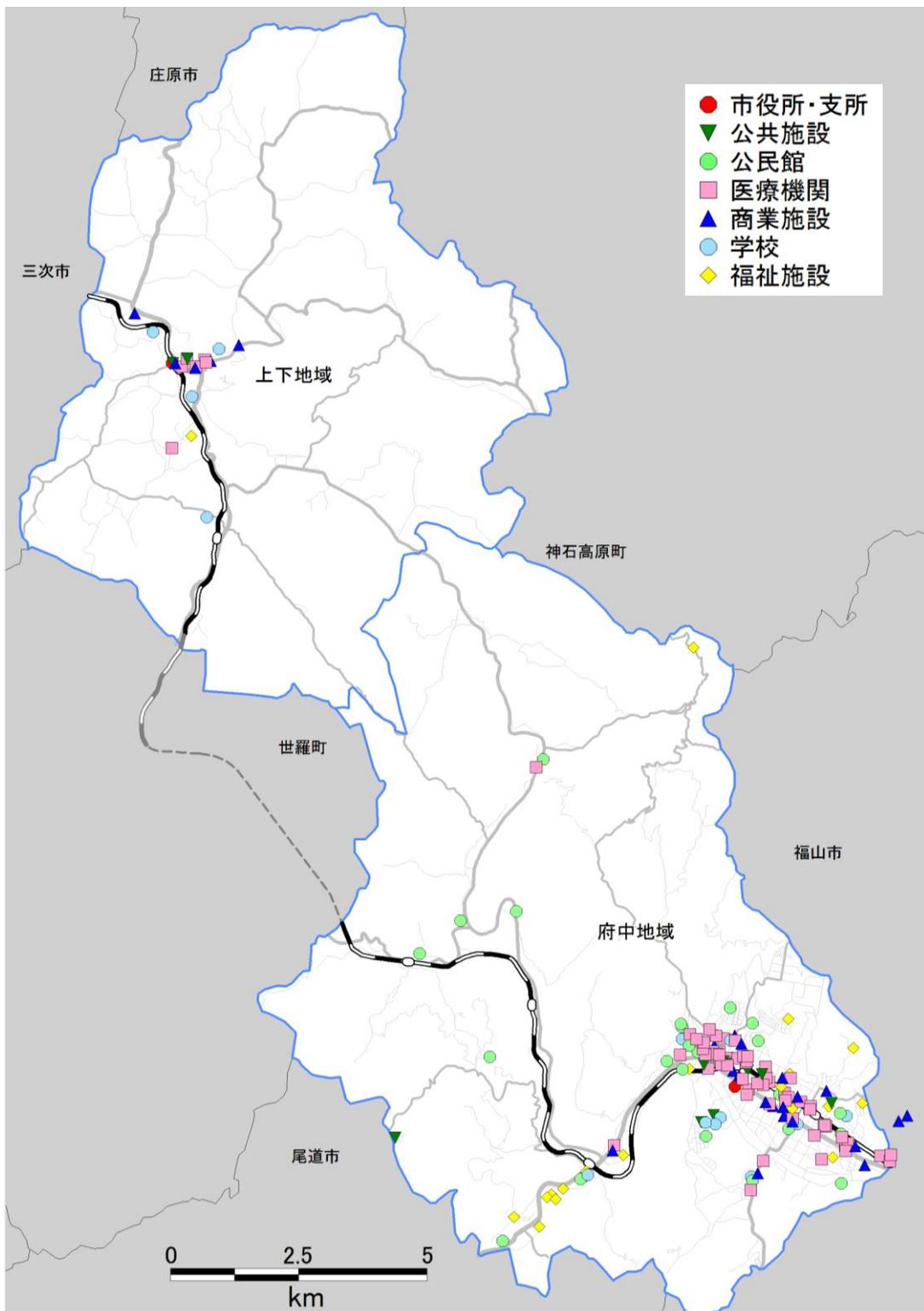


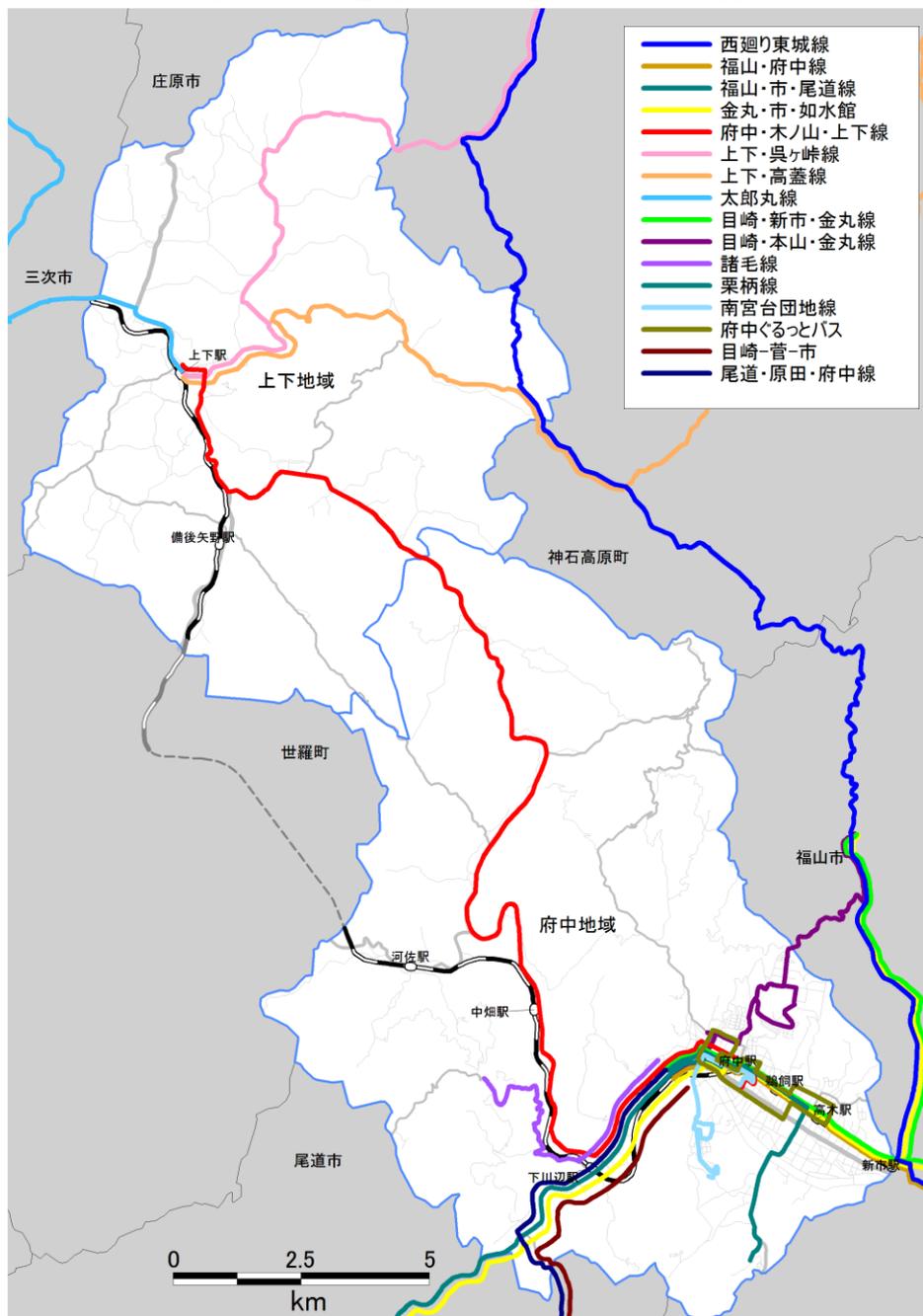
図 1-4 主要施設分布

## 2. 府中市の公共交通の現状

### (1) 公共交通路線網

鉄道は、JR福塩線が市内を運行しており、福山駅（福山市）で山陽新幹線、山陽本線と、塩町駅（三次市）で芸備線とそれぞれ接続しています。

路線バスは、府中地域の幹線道路を中心に、民間のバス事業者が運行する「4条路線」が運行しており、府中地域の周辺部や上下地域では、民間バス事業者が撤退した路線を市が引き継ぎ、廃止代替バスとして事業者に委託し運行を継続している「みなし4条路線」が運行しています。



1-5 府中市の公共交通路線網

(2) 鉄道

府中駅を中心に考えると、JR福塩線は平日で福山方面へ28往復、三次方面へ7往復運行しています。

平成23年度の市内の駅別乗車人員(1日平均)は、府中駅が856人と最も多く、次いで鶴飼駅(252人)、高木駅(231人)、上下駅(74人)と続いています。

なお、本市と福山市にまたがる新市駅は178人となっています。

新市駅を除く全駅合計で1,505人となっており、この10年で3割減少しています。

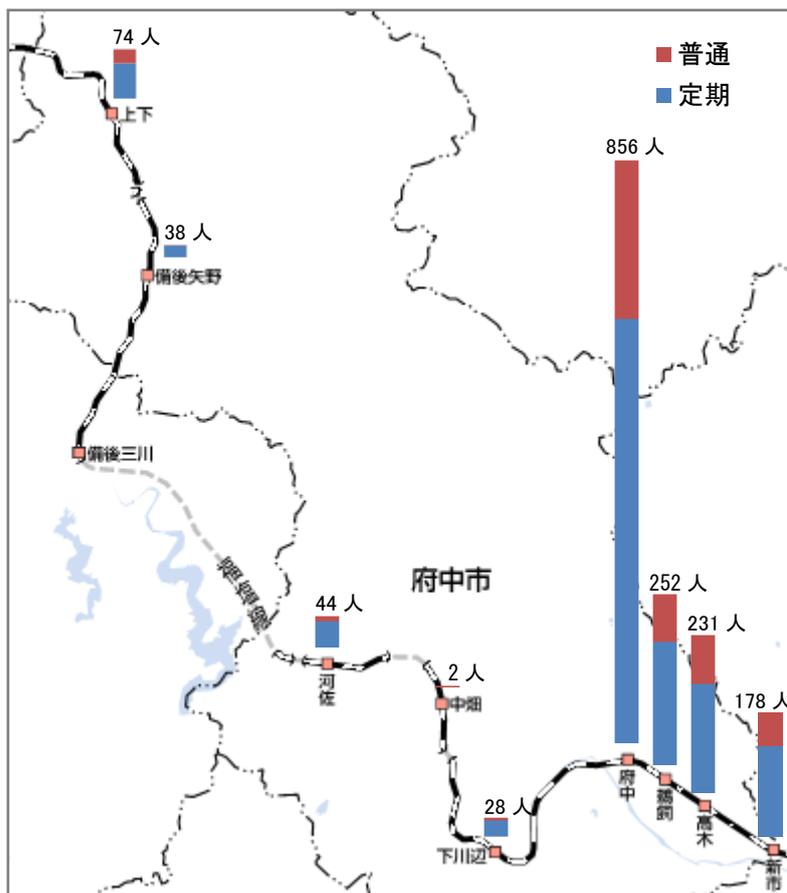


図 1-6 駅別旅客乗車人員 (23年度1日平均)

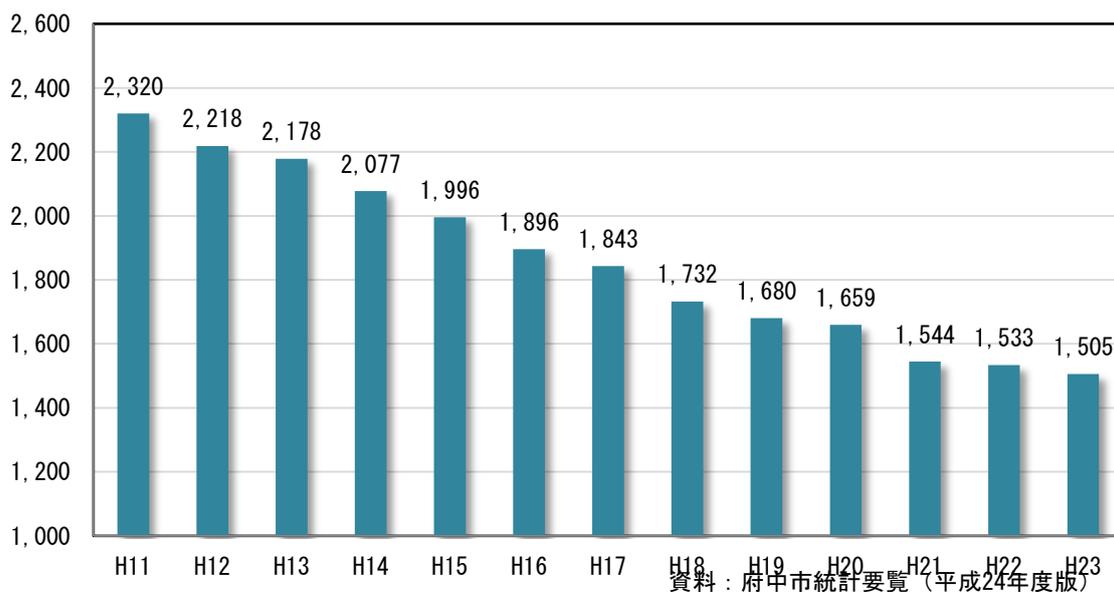


図 1-7 市内全駅合計乗車人員 (1日平均) の推移

(3) バス路線

民間のバス事業者が運行する「4条路線」が計11系統（広域路線：7系統、市内完結路線：4系統）、民間バス事業者が撤退した路線を市が引き継ぎ、廃止代替バスとして事業者に委託し、運行を継続している「みなし4条路線」が計19系統運行しています。

表 1-4 4条路線（広域路線）の系統一覧（平成24年度実績）

	運行系統名			キロ程 (km)	実車走行 キロ (km)	運行回数 (回)	平均乗 車密度	輸送人員 (人)
	起点	経過地	終点					
1	呉ヶ峠	牧・高蓋	福山駅前	54.7	80,154.0	2.0	2.6	38,902
2	福山駅前	中国中央病院	木ノ山	36.1	96,965.4	3.6	2.9	45,670
3	福山駅前	中国中央病院	市出張所	34.0	119,408.8	4.7	3.4	94,559
4	目崎車庫		市出張所	11.3	10,672.0	1.5	2.2	16,841
5	目崎車庫		福山駅前	21.1	413,416.0	26.7	3.7	355,152
6	福山駅前	市・中国中央病院	尾道駅前	52.0	137,203.8	3.6	4.3	83,132
7	金丸車庫前	木ノ庄・木頃	如水館前	37.1	21,666.4	1.0	7.0	37,037

表 1-5 4条路線（市内完結路線）の系統一覧（平成24年度実績）

	運行系統名			キロ程 (km)	実車走行 キロ (km)	運行回数 (回)	平均乗 車密度	輸送人員 (人)
	起点	経過地等	終点					
1	府中市役所	ぐるっとバス	府中市役所	7.7	29,837.5	13.0	1.5	14,583
2	目崎車庫		本山団地	6.3	8,290.8	2.0	0.5	3,555
3	大門	大池・鶴飼・大池	大門	9.7	12,998.0	2.0	2.5	7,614
4	大門	大池・鶴飼・府中東高	大門	10.5	20,454.0	3.0	1.0	5,013

表 1-6 みなし4条路線の系統一覧（平成24年度実績）

	運行系統名			キロ程 (km)	実車走行 キロ (km)	運行回数 (回)	平均乗 車密度	輸送人員 (人)
	起点	経過地	終点					
1	太郎丸	甲奴駅前	上下	14.2	15,775.3	2.0	0.9	2,161
2	枝上		目崎車庫	12.1	6,027.0	2.0	0.3	1,435
3	市出張所	菅	目崎車庫	18.9	14,913.6	2.5	0.5	3,107
4	菅	三郎の滝入口	目崎車庫	10.9	663.0	1.0	0.6	170
5	神石町役場		上下駅前	21.8	107,716.7	6.0	1.1	21,983
6	目崎車庫		加谷	7.1	5,875.2	3.0	0.3	1,152
7	目崎車庫		登呂茂口	6.4	11,198.4	5.0	0.5	2,333
8	目崎車庫	本山	金丸車庫	9.8	16,272.0	5.0	0.4	5,085
9	目崎車庫	下川辺	諸田農協	8.1	5,922.4	2.0	0.8	2,692
10	下川辺		諸田農協	5.7	3,031.2	1.0	1.3	1,684
11	上下駅前		高蓋	12.0	17,040.0	4.0	0.4	2,400
12	府中郵便局	田総の里	庄原	60.0	28,942.0	0.5	1.3	2,495
13	府中郵便局		上下駅前	28.5	18,531.9	0.5	1.7	1,047
14	目崎車庫	かんぼの郷	庄原	63.7	51,382.5	1.0	1.2	5,525
15	目崎車庫		上下駅前	26.6	28,282.8	1.5	0.8	3,626
16	上下駅前		庄原	27.2	6,596.8	0.5	0.6	868
17	上下駅前		田総の里	18.7	8,781.7	1.0	0.6	641
18	上下駅前	田総の里	庄原	37.1	51,935.4	2.0	0.9	4,257
19	上下駅前		府中市役所	28.6	75,028.8	2.5	1.7	9,744

(4) 予約型乗合タクシー

上下町上下地区を除く上下町地域6地区と空木地区、荒谷地区で予約型乗合タクシーが運行しています。

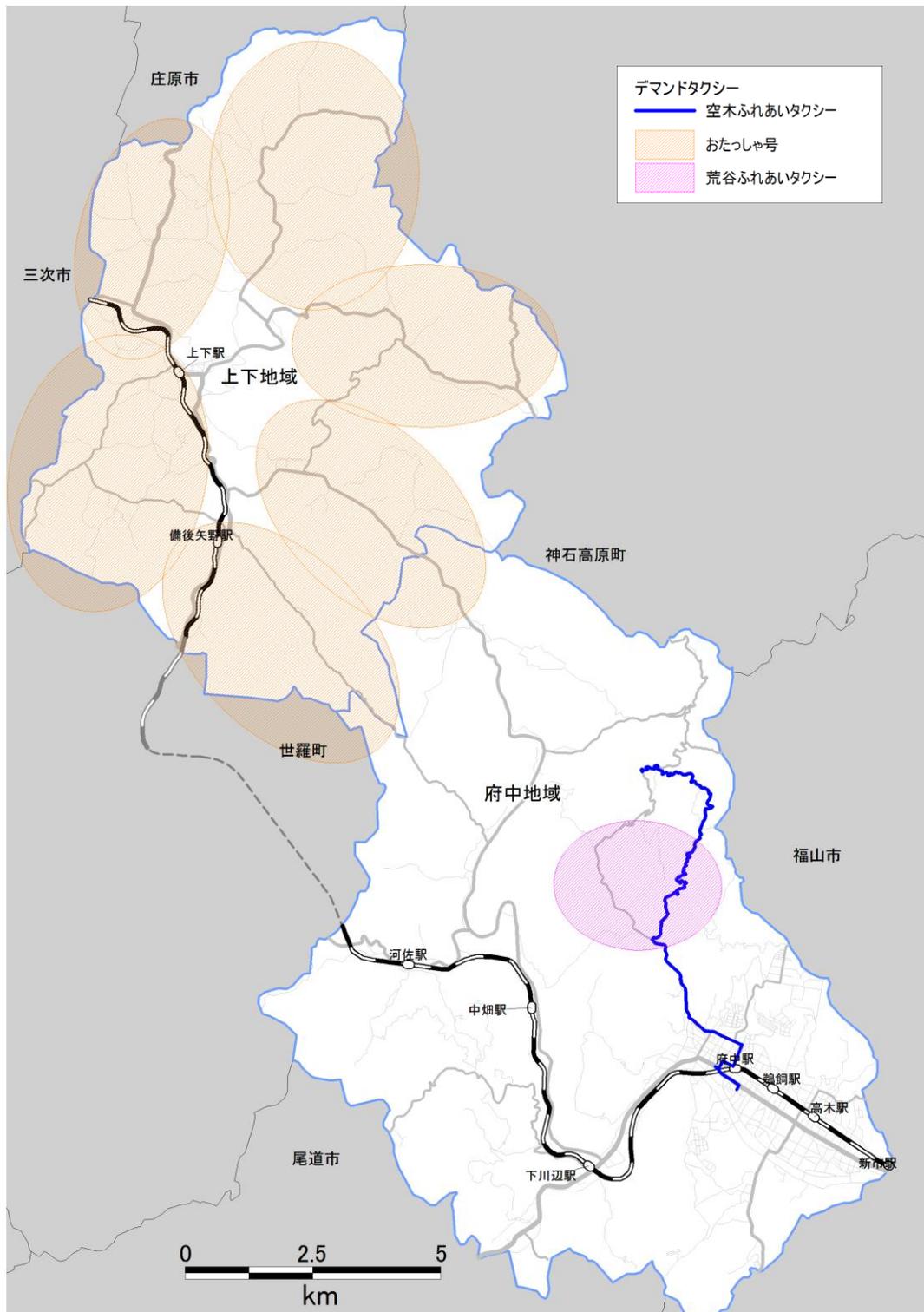


図 1-8 予約型乗合タクシーの運行区域・経路

(5) スクールバス

平成21年4月に、第四中学校が第三中学校に、久佐小学校と諸田小学校が明郷小学校にそれぞれ統合され、翌平成22年4月に、北小学校が明郷小学校に統合されるとともに、第三中学校と明郷小学校の校名を「府中明郷中学校」「府中明郷小学校」にそれぞれ変更し、小中一体型の「府中明郷学園」となりました。これにより、現在、スクールバスは、府中明郷学園、上下南小学校、上下北小学校の3校で運行しています。

また、上下保育所、下川辺保育所では、送迎バス・タクシーが運行しています。

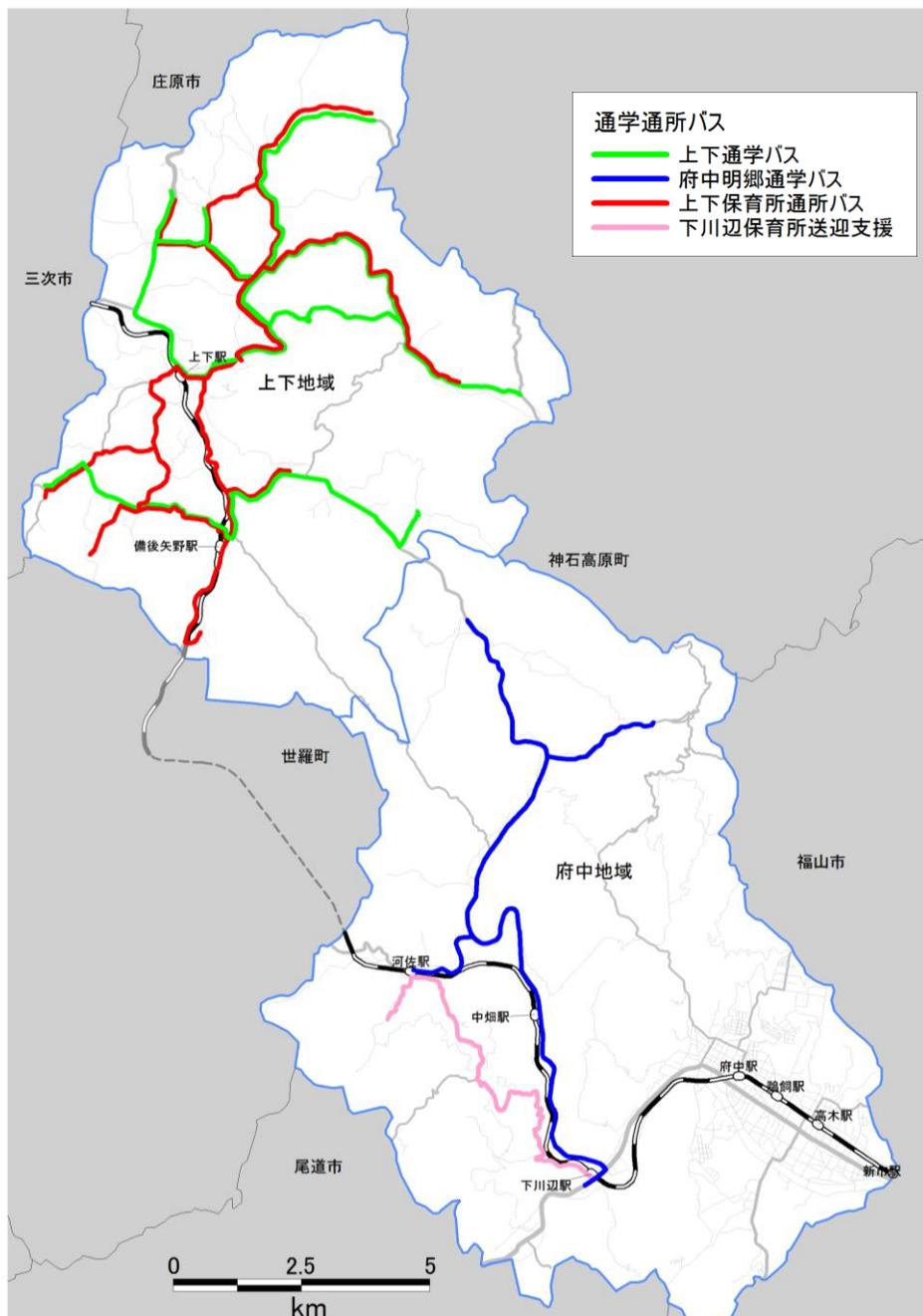


図 1-9 スクールバス・タクシーの運行経路

(6) 交通空白地域

バス停や駅から半径 400m圏外を交通空白地域と定義した場合、交通空白地域に住む人の数(400m圏外人口)は、約 9,700 人と推計され、人口の 1/4 に達します。町別の 400m圏外人口は、中須町(1,499 人)、出口町(1,075 人)、高木町(984 人)、栗柄町(704 人)、上下町矢野(617 人)、広谷町(569 人)、鶉飼町(533 人)など、主に中心市街地周辺が上位を占めています。

なお、北部地域(上下町上下を除く)や荒谷町では、区域運行の乗合タクシーが運行され、これらの地域を除くと、約 7,400 人と推計されます。

一方、本山町の 400m圏外人口は 257 人と人口の 1 割強です。しかし、本山町の見晴団地は、バス停から 400m圏内に入り、最寄りのバス停から団地入口の集会所までの路程距離も 290m ほどですが、高台にあるため、この間の高低差が 21m もあるとともに、団地の奥からバス停までは 1 km ほどあり、実質的には交通空白地域と言え、見晴団地の人口約 1,200 人を加えると、本山町の交通空白地域人口は、町人口の 7 割近くに達します。

表 1-7 バス停・駅から半径 400m圏域人口推計

地域	町名	総数	バス停・駅 400m圏		地域	町名	総数	バス停・駅 400m圏	
			圏内人口	圏外人口				圏内人口	圏外人口
中部	府中町	2,821	2,788	33	西部	河佐町	268	252	16
	出口町	1,964	889	1,075		久佐町	776	596	180
	土生町	2,489	2,473	16		諸毛町	333	146	187
東部	広谷町	1,898	1,329	569		小国町	13	3	10
	鶉飼町	2,463	1,930	533		阿字町	761	601	160
	元町	2,156	2,149	7		木野山町	572	366	206
	本山町	2,117	1,860	257		行藤町	132	67	65
	桜が丘一丁目	255	255	0		斗升町	96	77	19
	桜が丘二丁目	25	25	0		上下町上下	1,876	1,829	47
	桜が丘三丁目	47	0	47	上下町深江	368	236	132	
	府川町	1,238	1,166	72	上下町国留	154	0	154	
	高木町	4,957	3,973	984	上下町矢野	617	0	617	
	中須町	4,069	2,570	1,499	上下町矢多田	377	181	186	
	栗柄町	2,609	1,905	704	上下町松崎	118	0	118	
用土町	339	94	245	上下町井永	280	171	109		
西部	目崎町	1,198	1,176	23	北部	上下町佐倉	40	12	28
	父石町	1,224	1,191	33	上下町水永	119	119	0	
	上山町	115	0	115	上下町岡屋	91	0	91	
	荒谷町	128	0	128	上下町階見	228	171	57	
	河南町	273	273	0	上下町二森	98	98	0	
	篠根町	882	882	0	上下町小堀	428	194	234	
	河面町	202	189	14	上下町小塚	239	166	73	
	僧殿町	158	21	137	上下町有福	342	0	342	
	三郎丸町	610	490	120	全 市	42,563	32,912	9,651	

※22 年国勢調査小地域人口・電話帳 GIS データから算出

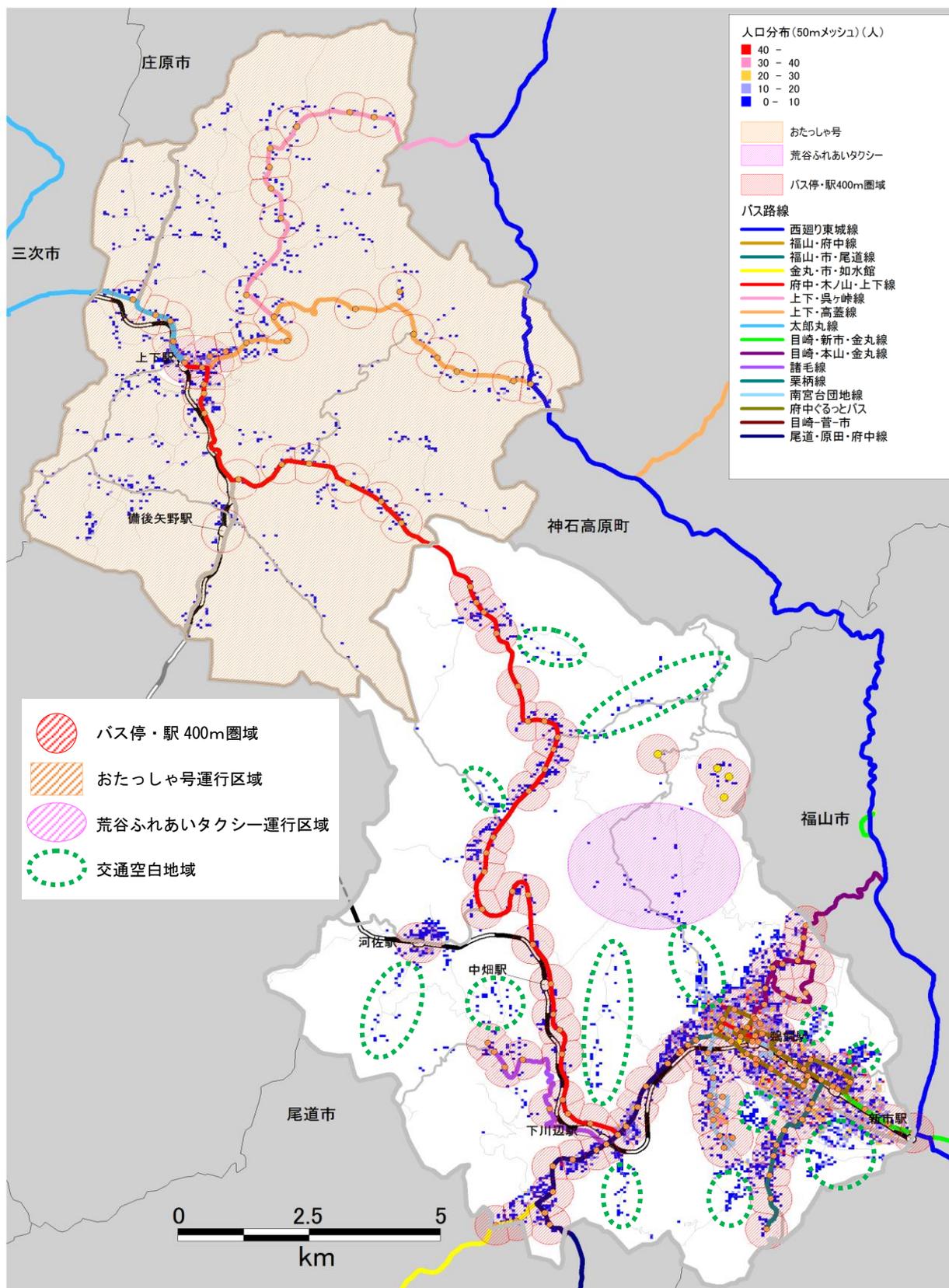


図 1-10 交通空白地域

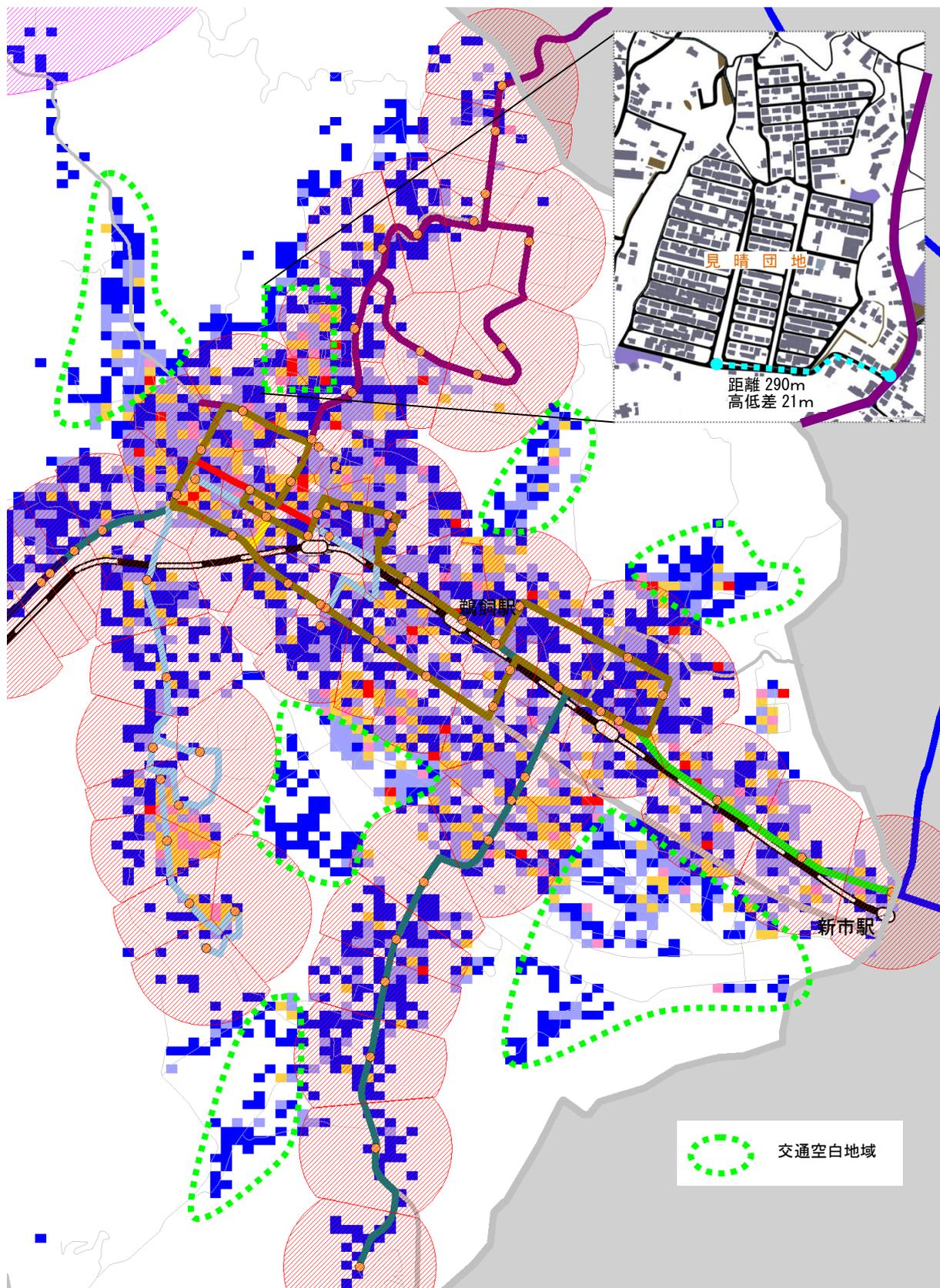


图 1-11 中心市街地周辺交通空白地域

(7) 公共交通関連計画・事業

①第二期府中市中心市街地活性化基本計画（平成25年4月）

＜公共交通関連事項抜粋＞

事業名：（仮称）公共交通利便増進プロジェクト

内容：交通広場への高速バス・市内循環バスの乗入、利便性の向上

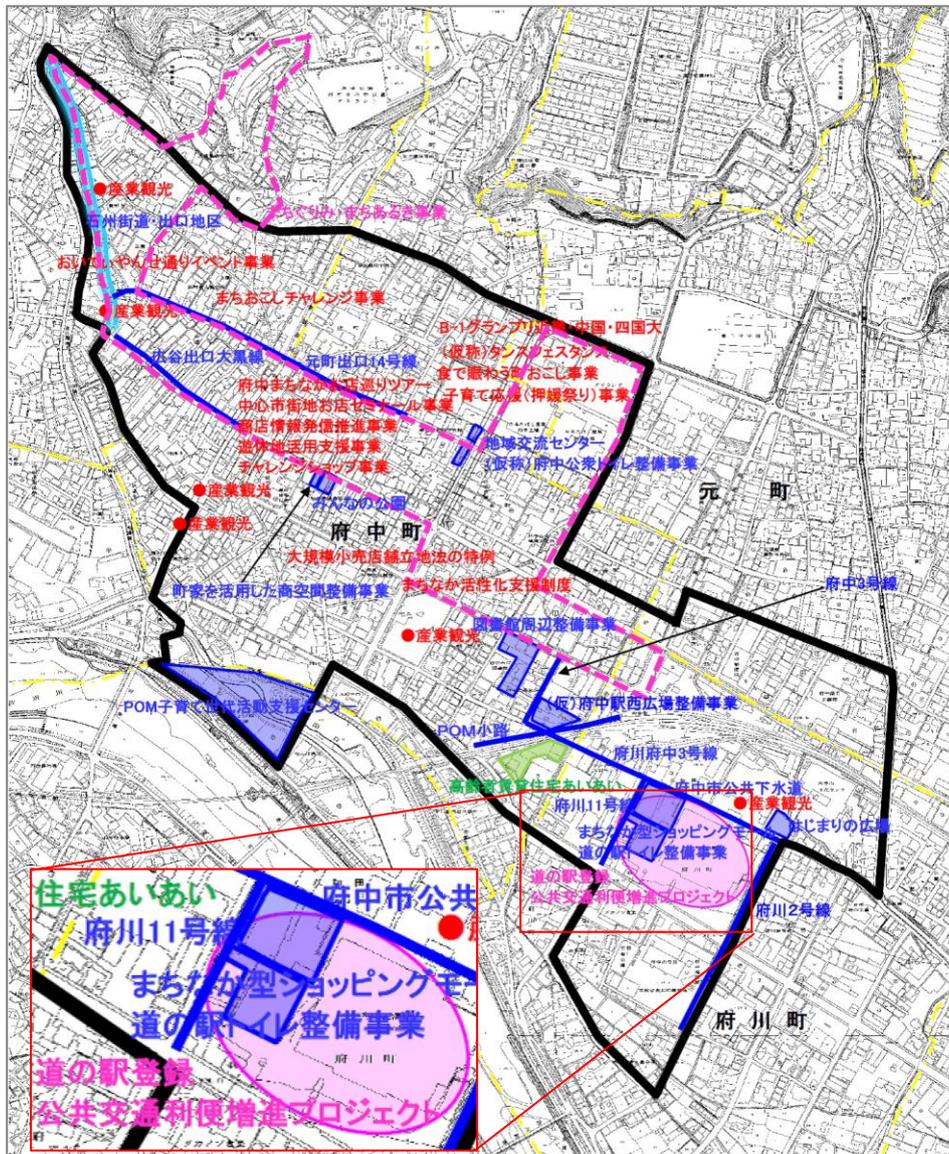
実施時期：H25～27年度

目標達成のための位置付け及び必要性：

JR府中駅南地区の交通広場整備に併せ、高速バス、市内循環バスの乗り入れを行い、道路交通情報、バスロケーションシステム、公衆トイレ、パークアンドバスライド等を整備し、公共交通の利便性の向上を図り、集客に繋がる事業である。

また、JR府中駅側へ高速バスが乗り入れることによってJRはもちろんであるが、府中駅前を発着する路線バスとの利便性は、格段に向上する。

このことから、「賑わいの創出」や「歩いて暮らせる地域の形成」に寄与する事業として中心市街地の活性化に必要なものである。



②外出支援サービス事業

事業の内容	対象者	手続き方法
<b>おでかけタクシー券</b>		
居宅と在宅福祉サービス提供事業所、医療機関等への送迎に利用するタクシー料金の助成。必要性に応じて年間 18 枚のタクシーチケット(上限額 500 円)を交付します。	概ね 65 歳以上の高齢者で地域的、心身の障害・疾病等により交通機関の利用が困難な人で、定期的(月 1 回程度)に医療機関等への通院があり、市民税非課税世帯の人。 対象者の範囲及び必要性については、申請書類等により総合的に判断 他の制度(福祉タクシー券)等により支給される人は対象外となります。	申請場所：福祉事務所介護福祉係、支所市民生活係 自己負担：乗車金額から助成金額を減じた額(同時に複数枚の使用可。ただし、追加交付は行わない。)
<b>福祉送迎車輛運行サービス</b>		
地域と目的地(医療機関、在宅福祉サービス利用事業所、最寄りのバス停)までの往復を地域ごとのコース、時間により送迎します。	交通機関の利用が不便な地域の概ね 65 歳以上の高齢者で目的地まで定期的な利用(月 2 回以上)が見込まれる人であって、車輛への乗り降りが自力で可能な対象地域の人(対象地域) 上山町、荒谷町、僧殿町、本山町、諸毛町、小国町、協和地域、栗生地域	申請場所：福祉事務所介護福祉係、支所市民生活係 自己負担：無料(平成 21 年 4 月現在)。ただし、利用するためには利用券の発行を受ける必要があります。
<b>車椅子専用タクシー</b>		
市内タクシー事業者 2 社に車椅子専用車輛を配置し、外出を支援します。 (配置事業所)アシナトランジット、中国タクシー	車椅子専用車輛が必要な人	アシナトランジット、中国タクシーへ直接依頼 自己負担：30 分程度で 2,710 円。 身体障害者手帳の提示により 1 割引、その他の福祉タクシー券との併用利用可。

③府中市市民病院改築

平成 28 年度の完成予定

市民が最も利用する医療機関であり、市民病院前バス停は、始発バス停を除いてぐるっとバス乗降者数が最も多い。

構造	プレキャスト鉄筋コンクリート造 4階建	
高さ	約 24 メートル	
幅	約 100 メートル	
奥行き	約 24 メートル	
床面積	約 10,000 平方メートル	
病床数	150 床	
診療科	内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、精神科	
駐車場	約 200 台分	

### 3. 公共交通に関する住民アンケート調査

#### (1) 調査概要

①調査実施時期：平成25年10月

②有効回答数

地域区分	世帯数	配布数	回収数	回収率
東 部 南	5,385	1,645	594	36.1%
東 部 北	3,624	1,390	548	39.4%
中 部	3,189	974	420	43.1%
西 部	3,247	992	449	45.3%
不明(旧府中市)			25	
北 部	2,094	999	503	50.4%
全 市	17,539	6,000	2,539	42.3%



東部南：府川町、高木町、中須町、栗柄町、用土町  
 東部北：本山町、見晴団地、元町、鶴飼町、広谷町、桜ヶ丘1、桜ヶ丘2、桜ヶ丘3  
 中 部：府中町、出口町、土生町  
 西 部：目崎町、父石町、上山町、荒谷町、河面町、篠根町、僧殿町、河南町、三郎丸町、河佐町、久佐町、諸毛町、小国町、阿字町、木野山町、行藤町、斗升町、  
 北 部：上下町上下、上下町深江、上下町国留、上下町矢野、上下町矢多田、上下町松崎、上下町井永、上下町佐倉、上下町水永、上下町岡屋、上下町階見、上下町二森、上下町小掘、上下町小塚、上下町有福

#### ③調査結果概要

	旧府中市				旧上下町
	東部南	東部北	中部	西部	北部
一人・夫婦世帯率	43.0%	45.0%	44.0%	40.0%	49.0%
免許保有率(車)	49.0%	48.0%	49.0%	46.0%	44.0%
自動車保有率	84.0%	82.0%	80.0%	83.0%	79.0%
バス停までの距離					
200m未満	28.0%	22.0%	41.0%	33.0%	32.0%
400m未満	25.0%	26.0%	26.0%	30.0%	21.0%
外出頻度					
5日以下/月	32.0%	25.0%	33.0%	31.0%	43.0%
26日以上/月	25.0%	28.0%	22.0%	23.0%	15.0%
普段利用交通手段:全体	乗合タクシー「おたっしや号」は北部のみの利用で約2%				
列車	25.0%	29.0%	20.0%	20.0%	15.0%
路線バス	15.3%	18.4%	20.0%	22.9%	10.0%
ぐるっとバス	4.0%	8.0%	10.0%	2.0%	0.4%
普段利用交通手段:非免許	乗合タクシー「おたっしや号」は北部のみの利用で約5%				
列車	30.7%	25.5%	20.0%	25.0%	21.9%
路線バス	32.7%	29.9%	31.3%	39.5%	16.8%
ぐるっとバス	11.3%	14.6%	20.9%	4.0%	0.6%
医療機関:施設名	利用時間帯=9時~12時が全体の79%と大半を占める				
1位	府中市民病院	府中市民病院	府中市民病院	府中市民病院	府中北市民病院
2位	唐川医院	佐野内科医院	なんば病院	なんば病院	三玉病院
買物先:施設名	利用時間帯=9時~12時が全体の44%を占める				
1位	ハローズ高木店	ハローズ府中店	ハローズ府中店	ハローズ高木店	Aコープ上下店
2位	イズミ	天満屋	天満屋	天満屋	いまよしマート
自宅⇒中心移動の不便さ					
不便	27.0%	27.0%	23.0%	51.0%	35.0%
ときどき不便	28.0%	29.0%	30.0%	27.0%	23.0%
勤務先移動地区					

第1章 府中市の現状と課題

	旧府中市				旧上下町
	東部南	東部北	中部	西部	北部
1位	福山市=37%	東部北内=32%	福山市=26%	福山市=29%	北部内=59%
2位	東部南内=26%	福山市=29%	東部南=25%	西部内=21%	その他市街=24%
JR福塩線の利用状況					
利用率	55.0%	66.0%	50.0%	44.0%	34.0%
利用頻度:1日/月	25.0%	21.0%	49.0%	23.0%	31.0%
利用頻度:16日以上/月	11.0%	15.0%	9.0%	13.0%	9.0%
路線バス運行満足度					
運行本数	2.83	2.83	2.93	2.31	2.34
ダイヤ	2.85	2.89	2.95	2.33	2.42
料金	3.08	3.07	3.11	2.76	2.85
運行経路	3.02	3.07	3.10	2.84	2.92
乗車時間	3.13	3.12	3.11	2.95	2.95
始発時刻	3.12	3.19	3.20	2.81	2.86
最終時刻	2.95	2.93	3.00	2.55	2.49
バス停距離	3.23	3.07	3.33	3.48	3.19
バス間乗継	2.87	2.94	2.93	2.67	2.57
JR乗継	2.88	2.94	2.89	2.56	2.50
時刻表見易	2.85	2.79	2.94	2.85	2.75
乗降容易性	3.12	3.12	3.06	2.92	2.73
待合環境	2.61	2.57	2.62	2.46	2.61
総合	2.93	2.93	3.04	2.78	2.78
ぐるっとバスの利用状況					
利用率	7.7%	17.1%	16.3%	7.1%	
利用頻度:1日/月	36.4%	27.6%	23.3%	25.0%	
利用頻度:4~7日/月	27.3%	17.2%	16.7%	6.3%	
ぐるっとバスサービス満足度					
運行本数	3.00	3.18	3.59	2.88	
運行経路	2.75	2.85	2.79	2.43	
目的地まで乗車時間	3.00	3.20	3.39	2.81	
他路線バスとの乗継	2.85	2.87	2.96	2.76	
列車との乗継	2.88	2.88	2.87	2.78	
バス停の待合環境	2.61	2.57	2.48	2.49	
おたっしや号の利用状況					
利用率					12.0%
利用頻度:1日/月					27.6%
利用頻度:4~7日/月					16.1%
おたっしや号サービス満足度					
運行日数(週2日)					3.18
運行日(曜日)					2.73
運行便数(1往復/日)					3.12
行帰り運行時刻					2.86
乗降場所					2.86
予約受付時間					2.53
府中上下線の利用状況					
利用率					13.0%
利用頻度:1日/月					27.0%
利用頻度:4~7日/月					18.0%
存続するための利用意向	65.7%	75.4%	76.2%	73.1%	76.6%

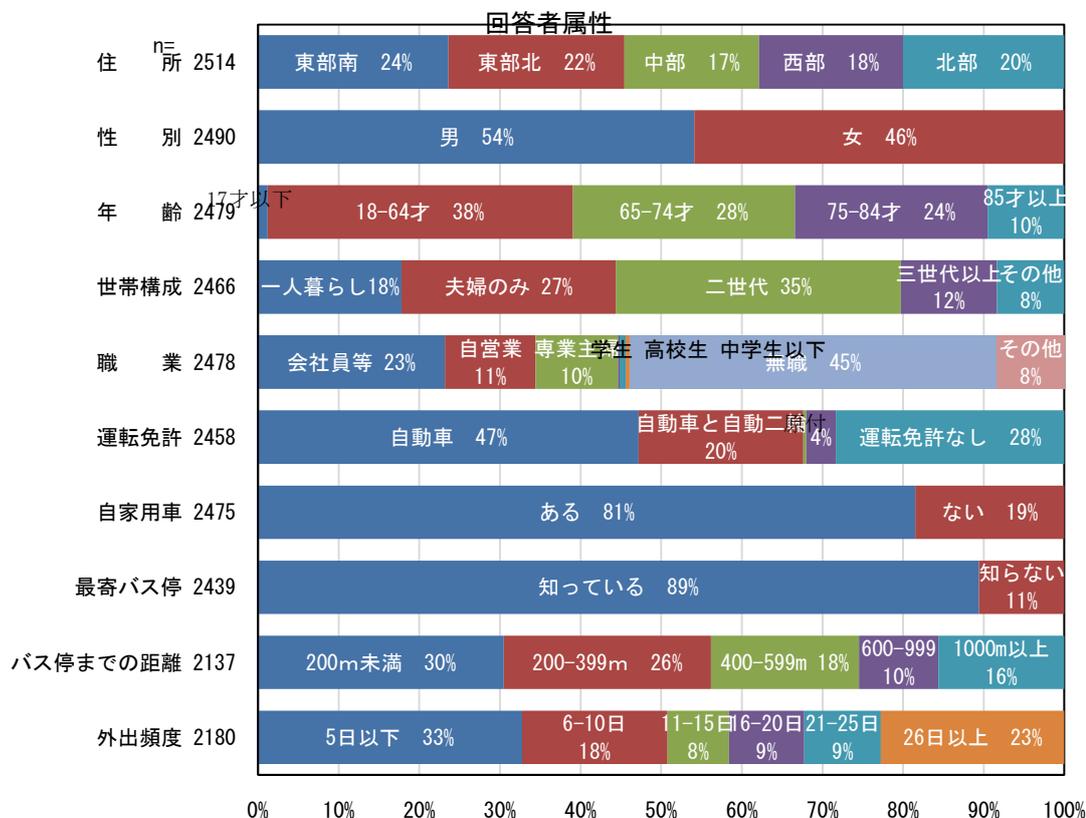
注1) 普段利用交通手段:非免許保有者

注2) 自宅⇒中心移動の不便さ=免許非保有者

注3) 存続するための利用意向=将来まで公共交通を残していくために利用しようと思うか?

(2) 調査結果

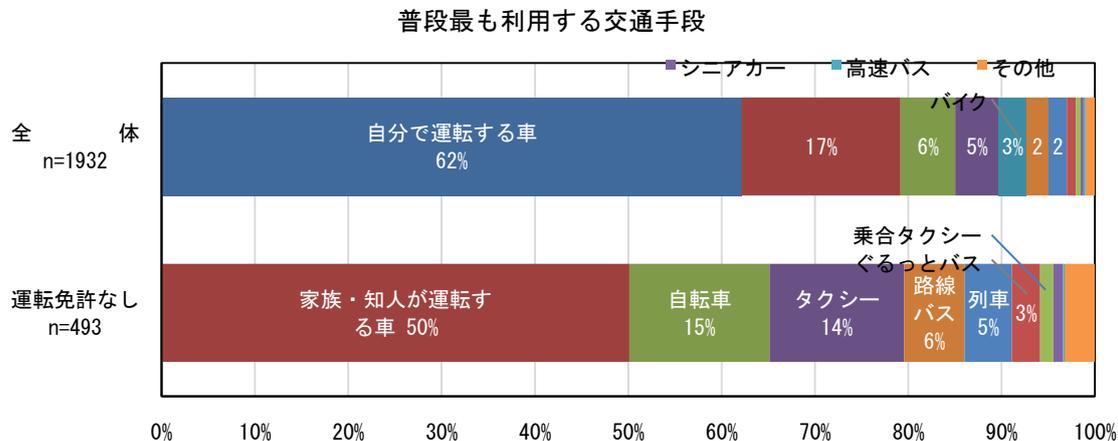
① 回答者属性



② 普段最も利用する交通手段

最も利用する交通手段としては、自分で運転する車が 62%を占め、家族・知人が運転する車（17%）を含めて自家用車が 8割を占めています。

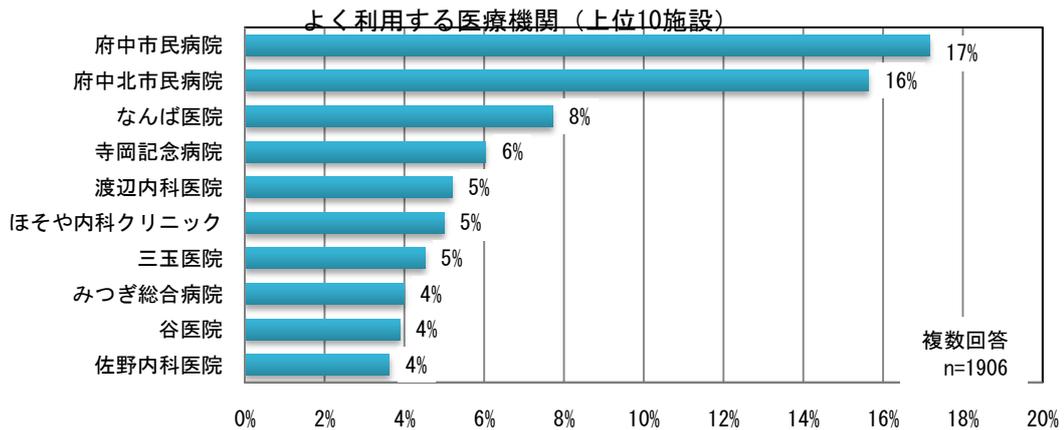
運転免許がない回答者の場合、家族・知人が運転する車が半数を占めますが、タクシー、路線バス、列車などの公共交通が 31%を占めています。



③よく利用する医療機関・買物先

<医療機関>

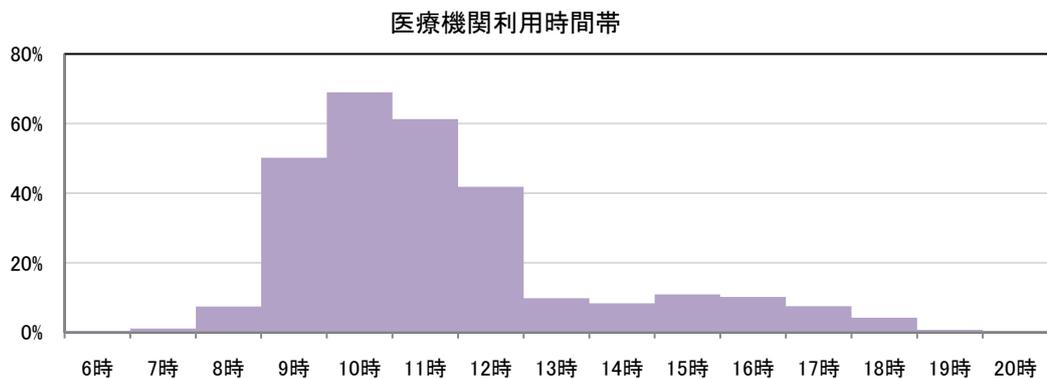
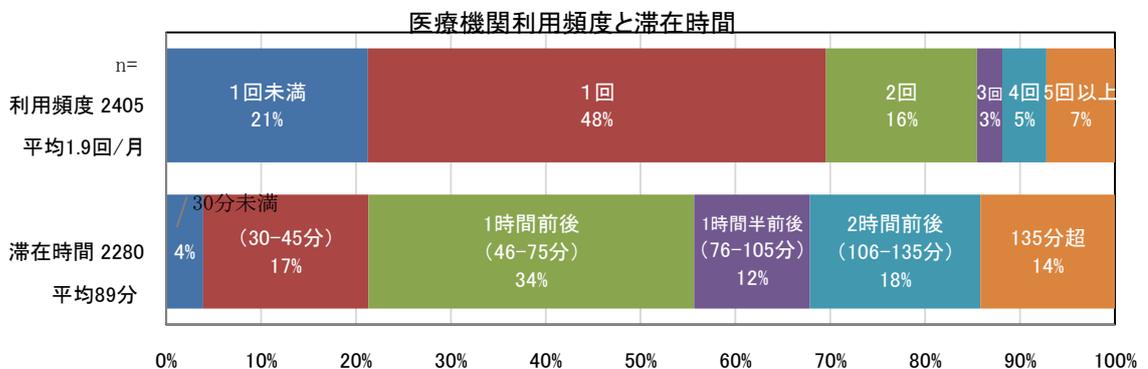
よく利用する医療機関として回答者の17%が府中市民病院を挙げ、次いで、府中北市民病院（16%）、なんば医院（8%）、寺岡記念病院（6%）、渡辺内科医院（5%）と続き、北部地域では、回答者の71%が府中北市民病院を挙げています。



利用頻度：月平均1回が48%と半数を占め、全体平均は1.9回

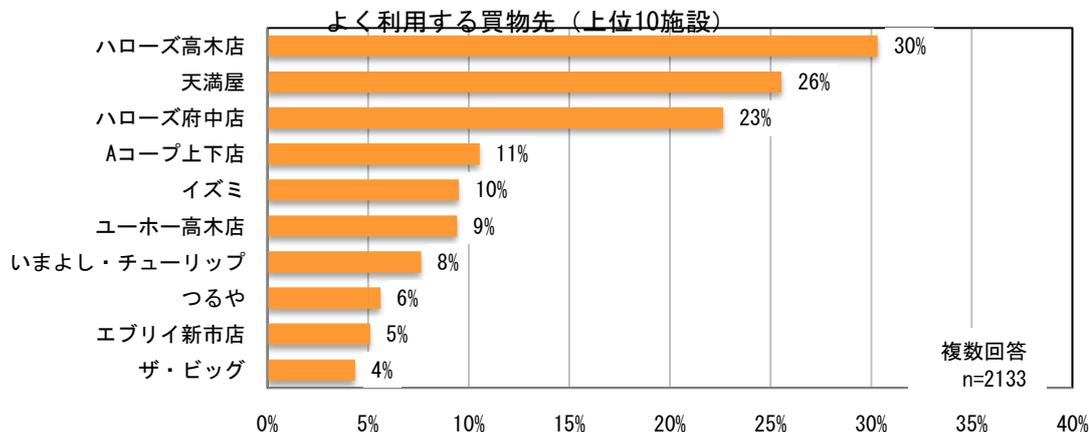
滞在時間：1時間前後（46～75分）が34%と最も多く、全体平均は89分

利用時間帯：10時台をピークに9時台から12時台が大半

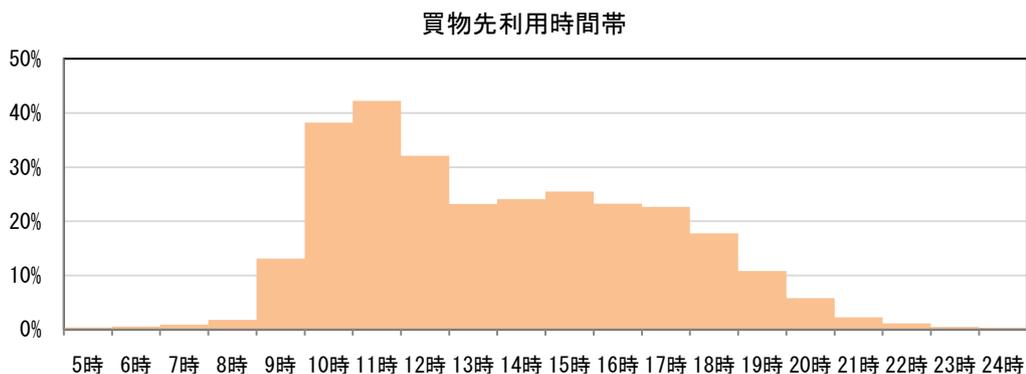
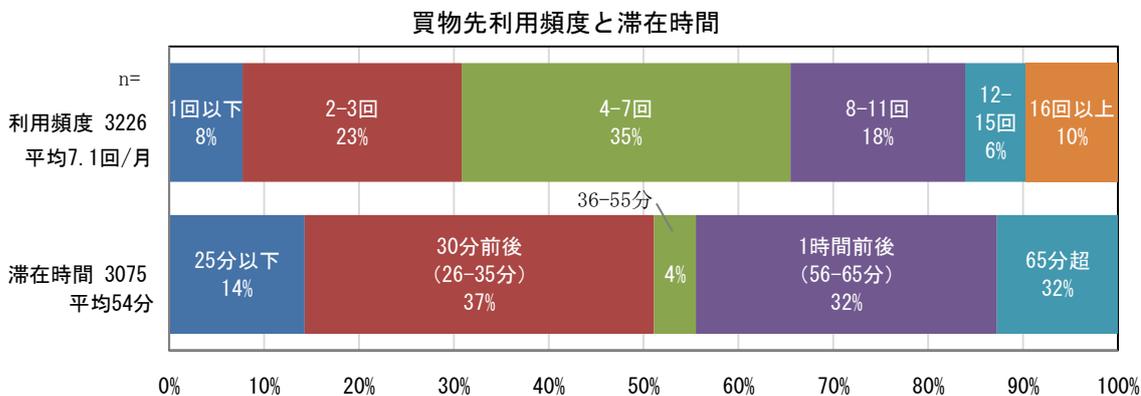


<買物先>

回答者の30%がハローズ高木店を挙げ、次いで、天満屋(26%)、ハローズ府中店(23%)と続いています。また、北部地域では、回答者の57%がA コープ上下店を、42%がいまよし・チューリップを挙げ、圧倒的多数を占めています。



利用頻度：月平均4-7回（週1-2回）が35%と最も多く、全体平均は7.1回  
 滞在時間：30分前後（37%）と1時間前後（32%）が多く、全体平均は54分  
 利用時間帯：11時台をピークに10時台~12時台の利用が最も多く、13時台~17時台も比較的多い



<運転免許非保有者の通院・買物先>

運転免許非保有者の通院・買物先は、東部・中部地域では地域内 94%、福山市 6%、北部地域では地域内 92%、東部・中部地域 3%、三次市 3%と、ほとんどが地域内となっています。

西部地域では、地域内が5%に止まり、東部・中部地域へが83%を占めています。

運転免許非保有者の通院・買物先

東部・中部地域

医療機関・買物先 所在地	医療機関				買物先				医療機関・買物先加重平均 構成比
	回 答 数	月 平 均 構 成 比	月 平 均 利用回数	加 重 平 均 構 成 比	回 答 数	月 平 均 構 成 比	月 平 均 利用回数	加 重 平 均 構 成 比	
東部・中部地域	390	80%	2.4	84%	526	94%	7.3	96%	94%
福山市	85	18%	1.9	15%	35	6%	4.0	4%	6%
その他	10	2%	1.4	1%	0	0%		0%	0%
合計	485	100%	2.3	100%	561	100%	7.0	100%	100%

西部地域

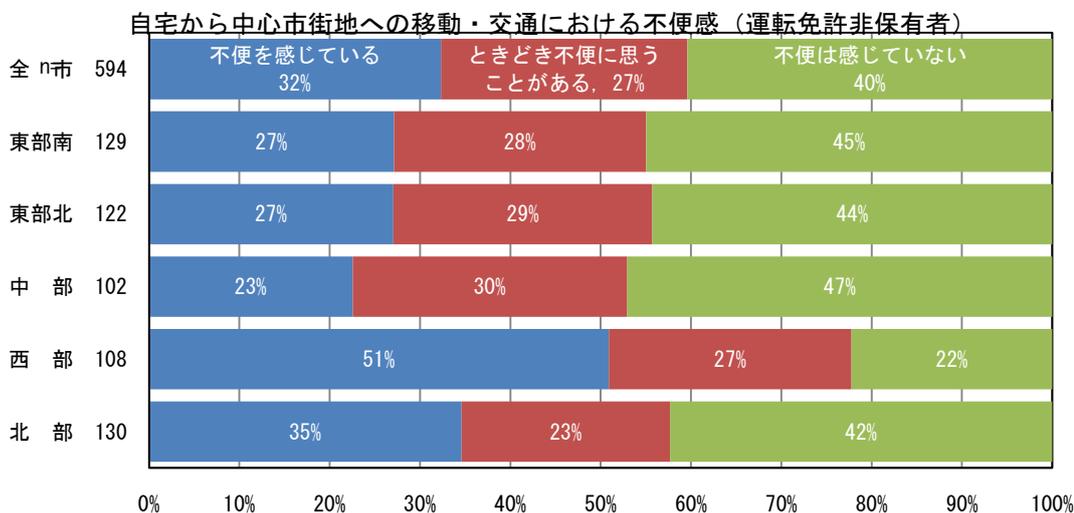
医療機関・買物先 所在地	医療機関				買物先				医療機関・買物先加重平均 構成比
	回 答 数	月 平 均 構 成 比	月 平 均 利用回数	加 重 平 均 構 成 比	回 答 数	月 平 均 構 成 比	月 平 均 利用回数	加 重 平 均 構 成 比	
東部・中部地域	114	75%	2.2	75%	116	87%	3.9	87%	83%
福山市	19	12%	1.1	6%	10	7%	3.9	8%	7%
御調町	14	9%	2.1	9%	1	1%	5.0	1%	4%
西部地域	5	3%	4.3	6%	7	5%	3.0	4%	5%
北部地域	1	1%	12.0	4%	0	0%		0%	1%
合計	153	100%	2.1	100%	134	100%	3.9	100%	100%

北部地域

医療機関・買物先 所在地	医療機関				買物先				医療機関・買物先加重平均 構成比
	回 答 数	月 平 均 構 成 比	月 平 均 利用回数	加 重 平 均 構 成 比	回 答 数	月 平 均 構 成 比	月 平 均 利用回数	加 重 平 均 構 成 比	
北部地域	163	87%	1.9	91%	138	80%	6.6	92%	92%
東部・中部地域	6	3%	1.2	2%	14	8%	2.5	4%	3%
福山市	4	2%	1.3	2%	2	1%	2.0	0%	1%
世羅町	3	2%	1.0	1%	14	8%	2.2	3%	3%
三次市	6	3%	0.9	2%	2	1%	4.5	1%	1%
御調町	3	2%	1.7	2%	0	0%		0%	0%
庄原市		0%	0.0	0%	2	1%	1.0	0%	0%
その他	3	2%	1.3	1%		0%	0.0	0%	0%
合計	188	100%	1.8	100%	172	100%	5.9	100%	100%

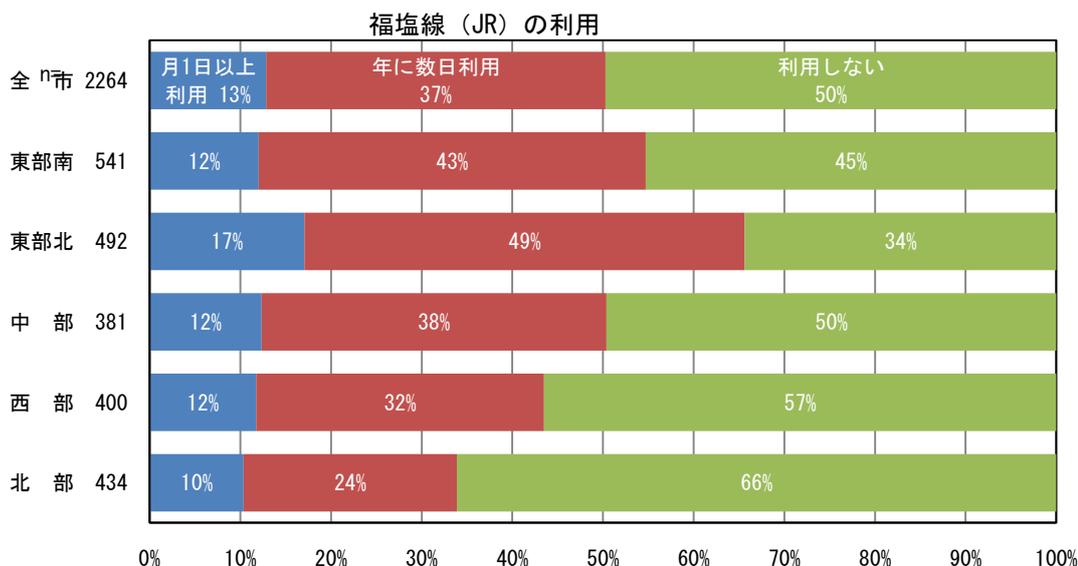
④自宅から中心市街地（北部地域は上下町中心部）への移動・交通

運転免許非保有者の場合、32%が不便と感じ、面積も広く中心市街地から遠い西部地域では5割を超えています。



⑤福塩線（JR）の利用

回答者の13%が月1日以上利用しており、年に数日利用（37%）を含めると、回答者の半数が利用しています。地域別では、相対的に東部北地域の利用が多く、北部地域での利用が少ないです。

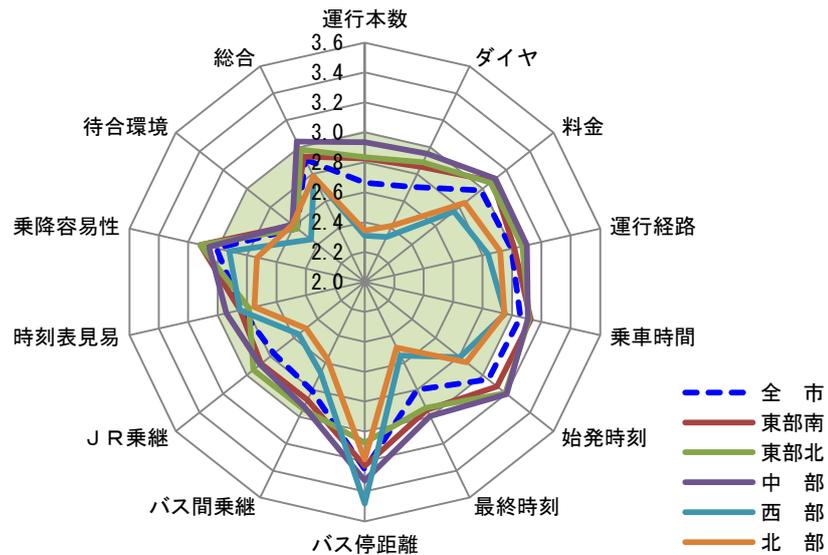


⑥路線バスのサービスの満足度

相対的にバス停までの距離や乗り降りのしやすさで満足度が高く、バス停の待合環境、運行本数、ダイヤの満足度が低く（不満が強く）なっていると同時に、全体的に不満傾向にあります。

- 地域別では西部地域、北部地域での満足度が相対的に低く、特に運行本数、ダイヤ、最終便の時刻の満足度が低くなっています。

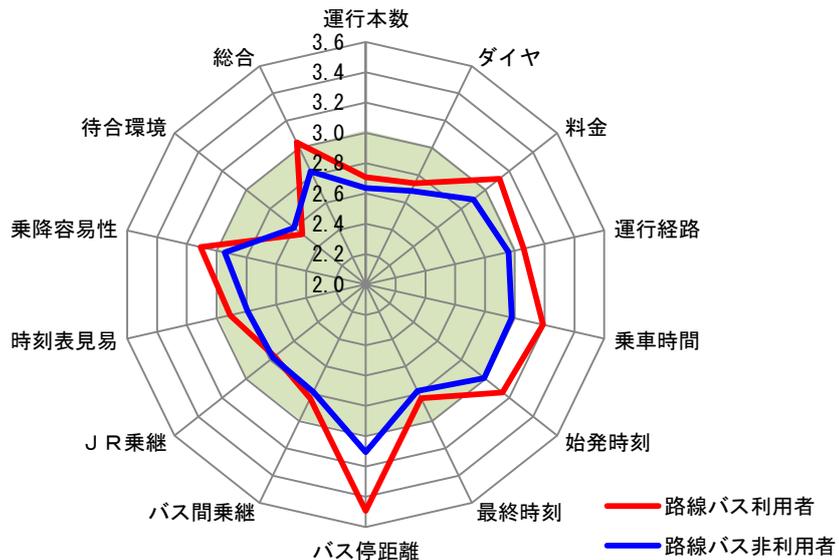
路線バスのサービスの満足度（全市・地域）



注) 満足度：各選択肢の満足度の評価値を「満足」5、「やや満足」4、「どちらでもない」3、「やや不満」2、「不満」1とし、その平均値。満足度は3を中心に1から5の範囲で示され、3を超え数値が高いほど満足度は高く、3未満で数値が低いほど不満度が高い

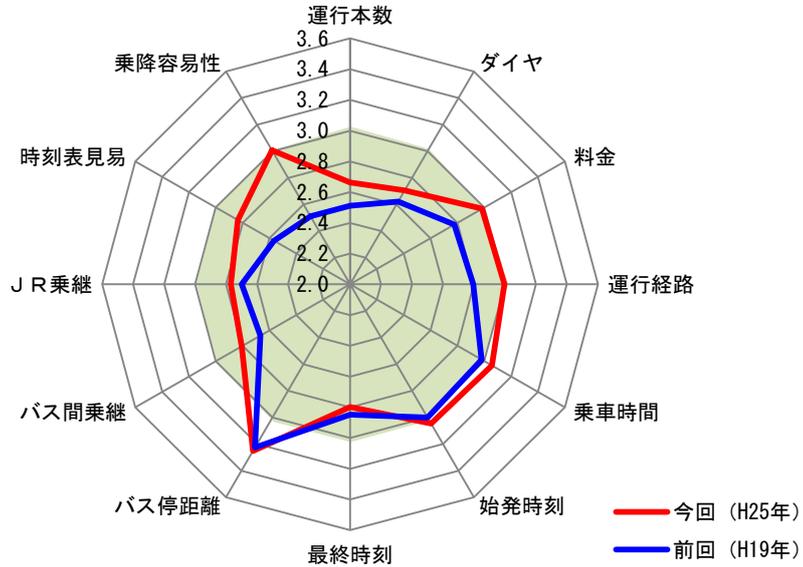
- 路線バス利用者と非利用者では、相対的に非利用者の満足度が低くなっています。

路線バスのサービスの満足度（路線バス利用者・非利用者）



- 前回調査（19年）に比べて、最終時刻を除いて満足度は改善し、特に車両の段差など乗り降りのしやすさ、バス停の時刻表や路線図のわかりやすさ、料金、運行経路について、大きな改善が見られます。

路線バスのサービスの満足度（今回調査・19年調査）



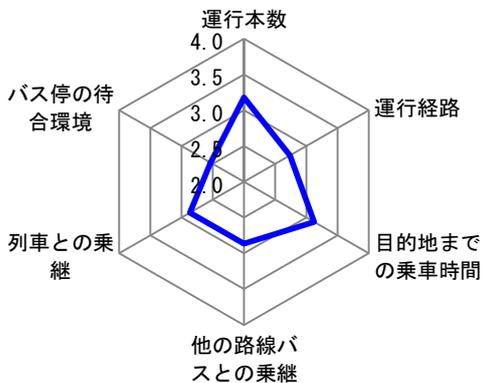
⑦府中ぐるっとバスとおたっしゃ号のサービス満足度

府中ぐるっとバス：相対的に運行本数や乗車時間の満足度が高く、バス停の待合環境や運行経路の満足度が低く（不満が強く）なっています。

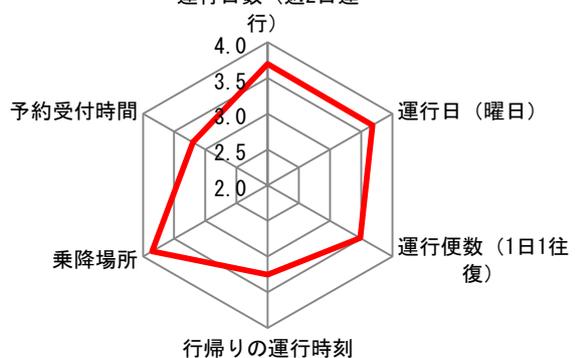
おたっしゃ号：相対的に乗降場所の満足度が高く、予約受付時間（往便：前日午後4時、復便：発車2時間前）の満足度が低く（不満が強く）なっています。

（注）府中ぐるっとバスは、旧府中市住民を対象に、おたっしゃ号は、旧上下町住民を対象に設問設定

府中ぐるっとバスのサービスの満足度

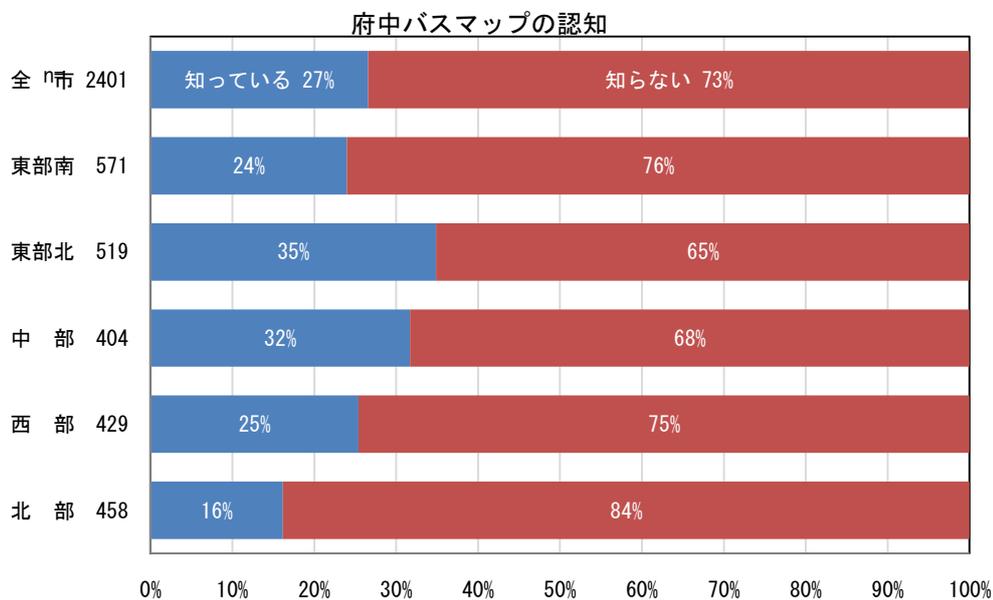


おたっしゃ号のサービスの満足度



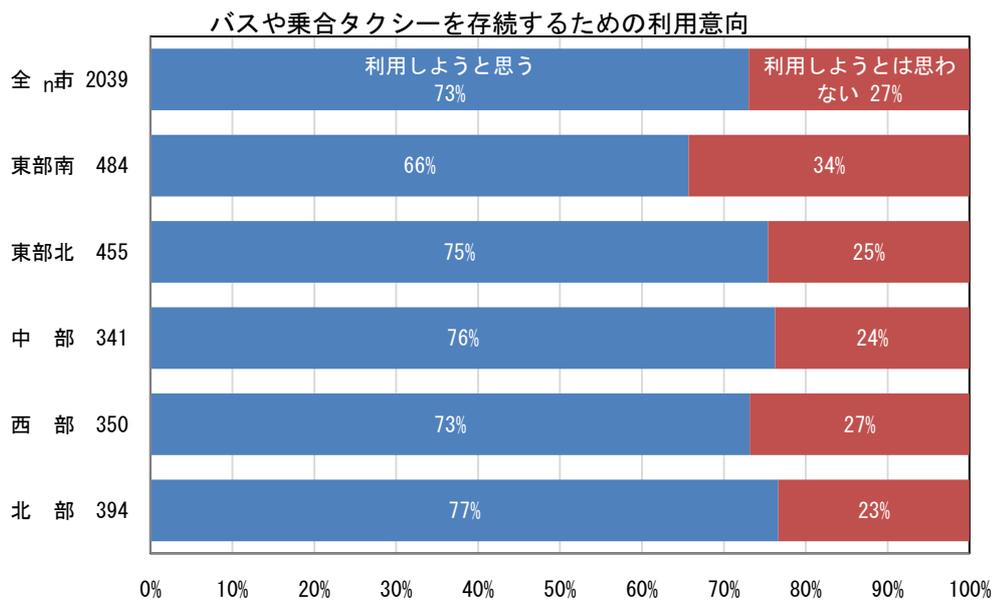
⑧府中バスマップ（バス路線図）の認知

府中バスマップ（バス路線図）を知っている人は27%で、バス路線や便数が比較的充実している東部北地域や中部地域で認知度が相対的に高くなっています。



⑨バスや乗合タクシーを存続するための利用意向

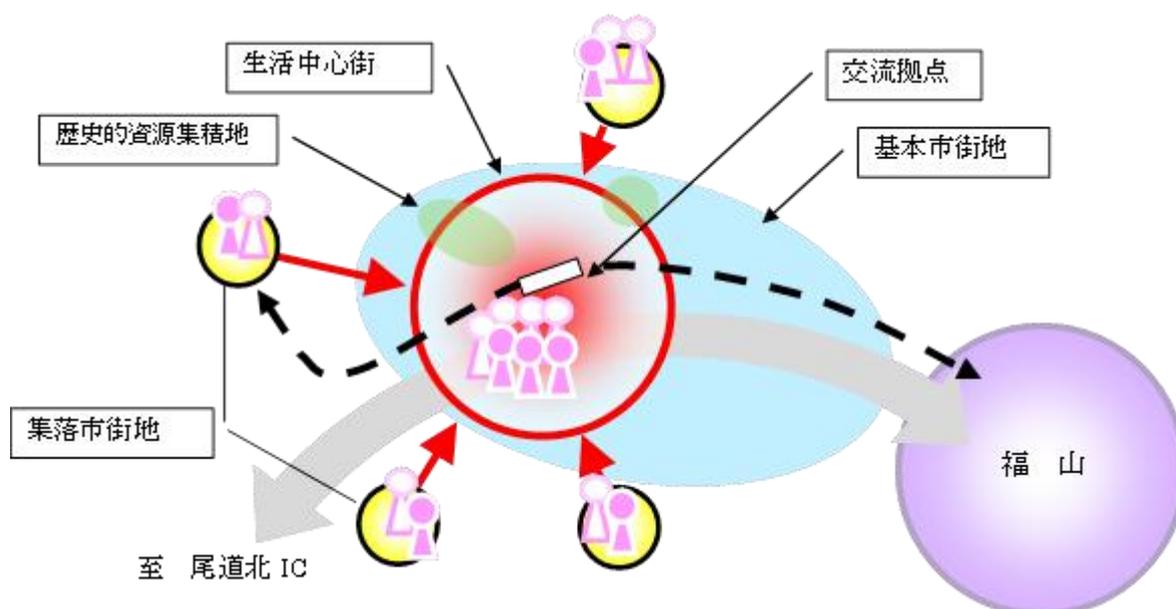
地域のバスや乗合タクシーを将来まで残していくために、73%が利用しようと思うと回答し、地域別では、東部南地域で利用意向がやや低くなっています。



#### 4. 市の公共交通の課題

##### (1) 通うほど魅力輝くまちづくりを支えるツールとしての公共交通

- ◆ 平成26年度に策定予定の都市計画マスタープラン理念の原点である府中市都市計画審議会で答申された目指すべき都市構造「快適に住みつづけられる集約型都市」の柱の一つである「集落市街地」と「生活中心街」の結びつきの維持・強化の実現や、第二期府中市中心市街地活性化基本計画で掲げる目標である「賑わいの創出」「歩いて暮らせる地域の形成」を実現するためには周辺地域から生活中心街へアクセスが容易な公共交通網の連携軸整備が必要です。
- ◆ 市民が気軽に外出できる環境を整えるため、中心市街地の主要拠点を公共交通結節点と位置付け、簡素でスムーズな往来を実現する必要があります。



##### 生活中心街とは？

小売店舗、行政機関、福祉施設、学校、文化施設など、市民が都市的な生活を営む上で必要な生活支援機能が集約的に立地し、各方面からのアクセスが良好に確保され、にぎわいと回遊性を兼ね備えた都市全体の生活拠点となる市街地。府中市独自の造語

## (2) 人口の減少と高齢化の進展

- ◆ 人口は減少傾向にあり、需要量に応じた効率的な運行を行うことが必要です。
- ◆ 高齢化に対応するため、自家用車に頼らない自立した生活を支える公共交通の構築が必要です。

### <平成37年の人口・高齢化率予測>

- 人口：約35,000人（22年比約7,600人減（18%減））
- 高齢化率：40.1%（22年比9.1ポイント増）

## (3) 通院・買物に合わせた運行

- ◆ 高齢者のバス利用は、通院と買物がほとんどであり、医療機関・商業施設が集積する中心市街地への通院・買物に合わせたダイヤや運行ルートの見直しが必要です。
- ◆ 地域内での通院・買物がほとんどを占め、地域内交通の充実が必要です。

### <通院・買物時間と運行ダイヤ>

#### ◆利用時間帯

- 通院利用時間帯は、10時台をピークに9時台から12時台が大半を占める
- 買物利用時間帯は、10時台～12時台の利用が最も多く、13時台～17時台も多い

#### ◆平均滞在時間

- 医療機関での滞在時間は30分から2時間超まで幅広い（平均滞在時間は1時間30分）
- 商業施設での滞在時間は15分から1時間（平均滞在時間は54分）

### <運転免許非保有者の通院・買物先>

- 地域内が東部・中部地域では94%、北部地域では92%
- 西部地域では、地域内が5%、東部・中部地域が83%

#### (4) 交通空白地域への対応

- ◆ バス停から離れている集落も多くあり、運転免許を持たない住民にとって、公共交通は重要な移動手段となるため、地域の状況やニーズに適した公共交通手段を検討し、こうした交通空白地域をできる限り減らしていく必要があります。
- ◆ 中心市街地周辺の交通空白地域は、対象者数の絶対数も多く、現行以上に需要量が見込まれる地区へ既存路線の運行ルートの見直しも必要です。

##### <交通空白地域の状況>

- 住民アンケートでは、バス停までの距離が400mを超えると回答が44%
- バスが利用しにくいとされる距離は、400~500m以上とされ、バス路線から400m以上離れた集落が市内各地域に点在
- バス停から半径400m圏内であっても、地形的な問題からバスを利用しにくい地域の存在
- 交通空白地域人口は、約8,600人（推計値）

##### <地域の状況やニーズに適した公共交通手段>

- 需要の大きさや役割分担に対応して、路線バス、乗合タクシー、過疎地有償運送<sup>2</sup>、タクシー補助制度などがある

---

<sup>2</sup>過疎地有償運送：過疎地域において社協や地縁団体等が利用登録した地域住民に行う運送。

(5) 利用者の減少への対応

バスの主な利用者である運転免許を持たない高齢者は、運転免許保有率の上昇に合わせて今後急速に減少します。こうした利用者の減少を踏まえつつ、曜日運行の導入や地域の状況に応じた移動手段の検討など効率的で持続可能な公共交通を地域住民とともに考えていく必要があります。

<運転免許非保有者推計>

65歳以上の運転免許非保有者推計では、22年の約7,500人から37年には約4,000人へと減少

府中市運転免許非保有者推計（65歳以上）

年 齢	総数				男				女			
	22年	27年	32年	37年	22年	27年	32年	37年	22年	27年	32年	37年
65～69歳	922	619	355	182	149	87	45	26	773	533	310	155
70～74歳	1,243	866	568	331	216	136	61	36	1,027	730	507	296
75～79歳	1,643	1,128	763	544	369	186	85	70	1,274	942	678	474
80歳以上	3,661	3,784	3,309	2,924	867	787	474	433	2,795	2,997	2,834	2,491
65歳以上	7,470	6,398	4,995	3,981	1,601	1,196	665	565	5,869	5,201	4,329	3,416
22年比	100%	86%	67%	53%	100%	75%	42%	35%	100%	89%	74%	58%

資料：広島県運転免許保有率試算、国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口

広島県運転免許保有率（H22）

年 齢	男	女	総合
45 - 49歳	98%	91%	95%
50 - 54歳	98%	87%	92%
55 - 59歳	97%	81%	89%
60 - 64歳	95%	71%	83%
65 - 69歳	90%	55%	72%
70 - 74歳	83%	34%	57%
75 - 79歳	70%	16%	39%
80歳以上	42%	3%	16%

資料：22年国勢調査、広島県運転免許保有者数（H22年12月末現在）

(6) 運行経費の低減と適正配分

- ◆ 需要量に見合ったサービス提供を基本に運行便数・運行方法等を見直す必要があります。
- ◆ 民間バス路線廃止に伴い市が運行を委託するみなし4条路線では、利用状況に大きな格差が生じているため、適正配分の観点からも運行便数・運行方法を見直す必要があります。
- ◆ 諸田線のように通学利用が主である路線は、混乗型スクールバス等への切り替えも検討する必要があります。

<みなし4条路線利用状況>

- 19系統のうち13系統が平均乗車密度1.0以下

<スクールバスの一般有償利用も普通交付税対象とする通達>

平成24年5月16日	
各都道府県財政担当課 普通交付税担当者 殿	総務省自治財政局交付税課
平成24年度普通交付税の算定に用いる基礎数値の取扱いについて（小・中学校費）	
平成24年度普通交付税の小・中学校費（児童数・生徒数）の算定における密度補正Iに用いるスクールバス・ボート数については下記の通り扱うこととします。	
記	
1 スクールバス・ボートを児童生徒の通学以外の目的で運行し、又は便乗により利用している場合（有償での利用も含む）でも児童生徒の登下校に支障がない限り、当該スクールバス・ボートを数値に含める。	
2 ただし、上記1に該当する場合であっても、他のスクールバス・ボートと同様に年間を通じて登・下校のために運行されるもので登校又は下校時のみに運行されるものは除くことやバス（定員10人以上。なお運転手は除く）に限ることとし、ハイヤー・ジープ等は除くことの条件を満たしているスクールバス・ボートに限る。	

(7) 利用促進

- ◆ 利用者の減少が予測される中、公共交通は「乗って守る」ということを基本に、住民主体の利用促進活動が必要です。
- ◆ これまで公共交通に関する情報が十分に住民に周知されておらず、公共交通への住民意識を高めるためにも、公共交通情報の住民周知が必要です。

## 第2章 計画の基本方針

### 1. 基本理念

本市の課題を踏まえ、基本理念を以下の通りとします。

## 市民生活を支え地域の魅力を高める公共交通

住民が元気に安心して暮らせる魅力あるまちづくりに向けて、これを支える持続可能な公共交通を目指します。

### 2. 基本目標

基本目標は、本計画で目指す府中市の公共交通の姿（将来像）を示すものであり、基本理念を踏まえて以下の3つの目標を設定します。

#### 目標1：市民生活を支える持続可能な地域公共交通

- ◆市街地の賑わいを創出するため、周辺地域から市街地へ移動しやすく、また市街地内の移動も利便性を向上させて市民の外出機会と環境づくりを支援します。
- ◆地域の状況やニーズに合わせた交通手段を確保し、交通空白地域の解消を図り、だれもがどこでも最低限の交通サービスを享受できるようにします。
- ◆需要に見合った運行と公共交通資源の最適配分を基本に効率的で持続可能な交通体系を構築します。

#### 目標2：利便性の高い地域内公共交通

各地域の生活圏を踏まえ、地域内公共交通の充実を図り、地域住民がよく利用する医療機関、商業施設、公共施設等へのアクセス機能を高め、利便性の高い公共交通ネットワークを構築します。

#### 目標3：人にやさしい公共交通

- ◆従来の路線バスに加え、福祉的な側面からの移動支援や運賃補助制度などの様々なサービスを、地域の状況やニーズにあわせて検討し、過疎・高齢社会に適応した交通体系を構築します。
- ◆公共交通の車両や結節点などのバリアフリー化、バス停整備、バスロケーションシステムの導入など誰もがわかりやすい情報提供など、全ての人が利用しやすい交通環境を整備します。

### 3. 数値目標の設定

目標の達成に向けて下記の通り数値目標を設定します。

#### ①交通空白地域の解消

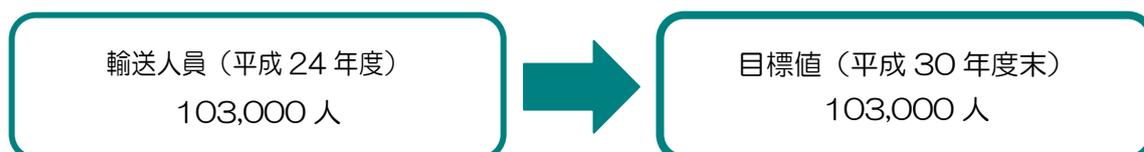
平成 30 年度末でバス停や駅から遠く、路線バスや列車が利用できないあるいは利用しにくい交通空白地域人口を市人口の 10%以下とすることを目標とします。



※ 交通空白地域とは、バス停・駅から 400 メートル圏外及びバス停から 400 メートル圏内であっても地形的にバスや列車が利用しにくい地域に対して、既存バス路線の路線延長、乗合タクシーやその他の支援策により交通手段を確保することを想定して目標値を設定しています。

#### ②みなし 4 条路線及び市内完結 4 条路線の輸送人員の維持

みなし 4 条路線及び市内完結 4 条路線の 24 年度輸送人員は、約 103,000 人です。人口の減少や高齢者の運転免許保有率の上昇などから、利用者の減少が避けられない状況にあるため、みなし 4 条路線及び市内完結 4 条路線等の見直しを前提に、輸送人員の現状確保を目標とします。



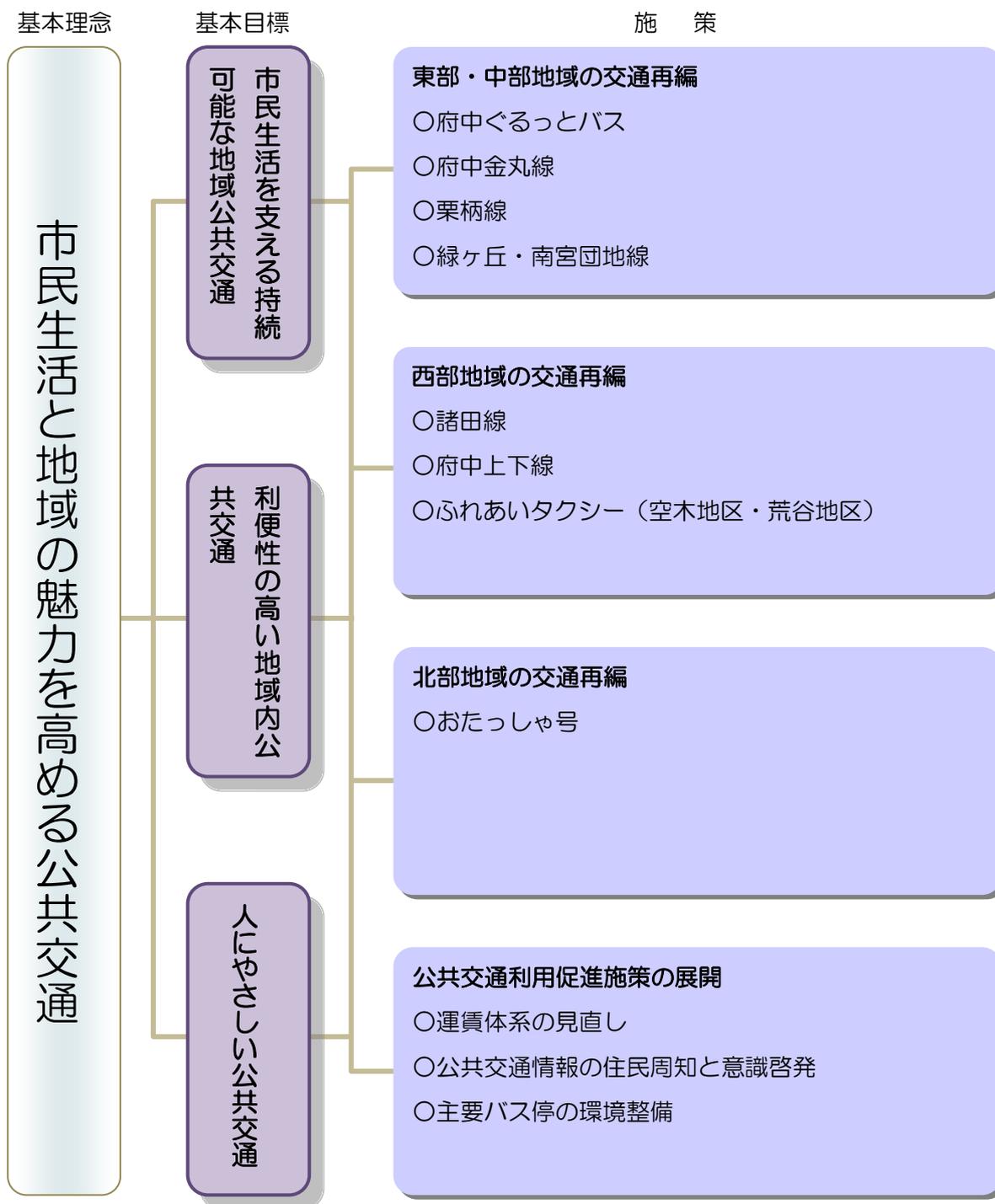
#### ③路線バスのサービス満足度の向上

住民意識調査における路線バスのサービス満足度は、19 年調査に比べて大きく改善していますが、総合評価は 5 段階評価で 2.9 と、中立の 3.0 を下回り、やや不満傾向にあります。路線バスの見直しにより、利便性を高め、総合評価 3.5 以上となることを目標とします。



## 第3章 計画に位置付ける事業

### 1. 施策体系



2 事業スケジュール

施策	事業・事業対象	26年度	27年度	28年度	29-30年度
東部・中部地域の交通再編	府中ぐるっとバス				
	府中金丸線				
	栗柄線				
	緑ヶ丘・南宮団地線				
西部地域の交通再編	諸田線				
	府中上下線				
	ふれあいタクシー（空木・荒谷）				
北部地域の交通再編	おたっしゃ号				
公共交通利用促進施策の展開	運賃体系の見直し				
	公共交通情報の住民周知と意識啓発				
	主要バス停の環境整備				

検討協議・計画作成
  実証運行
  実施・本格運行



### 3. 東部・中部地域の交通再編

中心市街地と周辺部を結ぶ各バス路線（府中金丸線、栗柄線、緑ヶ丘・南宮台団地線、府中上下線）の一部の便について、市街地区間の運行ルートを変更し、府中ぐるっとバスと逆回りの循環ルートとし、市街地周辺部から主要目的地である医療機関や商業施設等へできるだけ乗り換えなしで直接行けるように見直します。

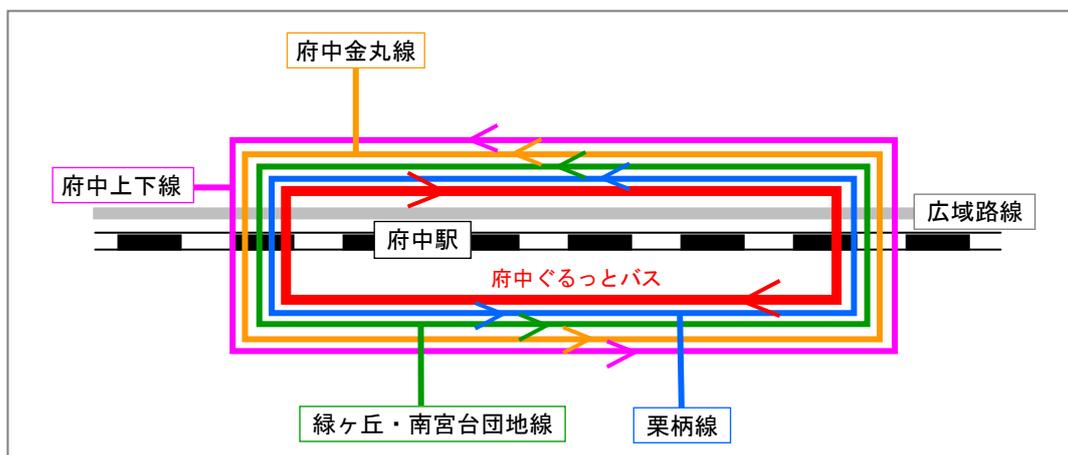


図 3-1 中心市街地バス路線整備イメージ

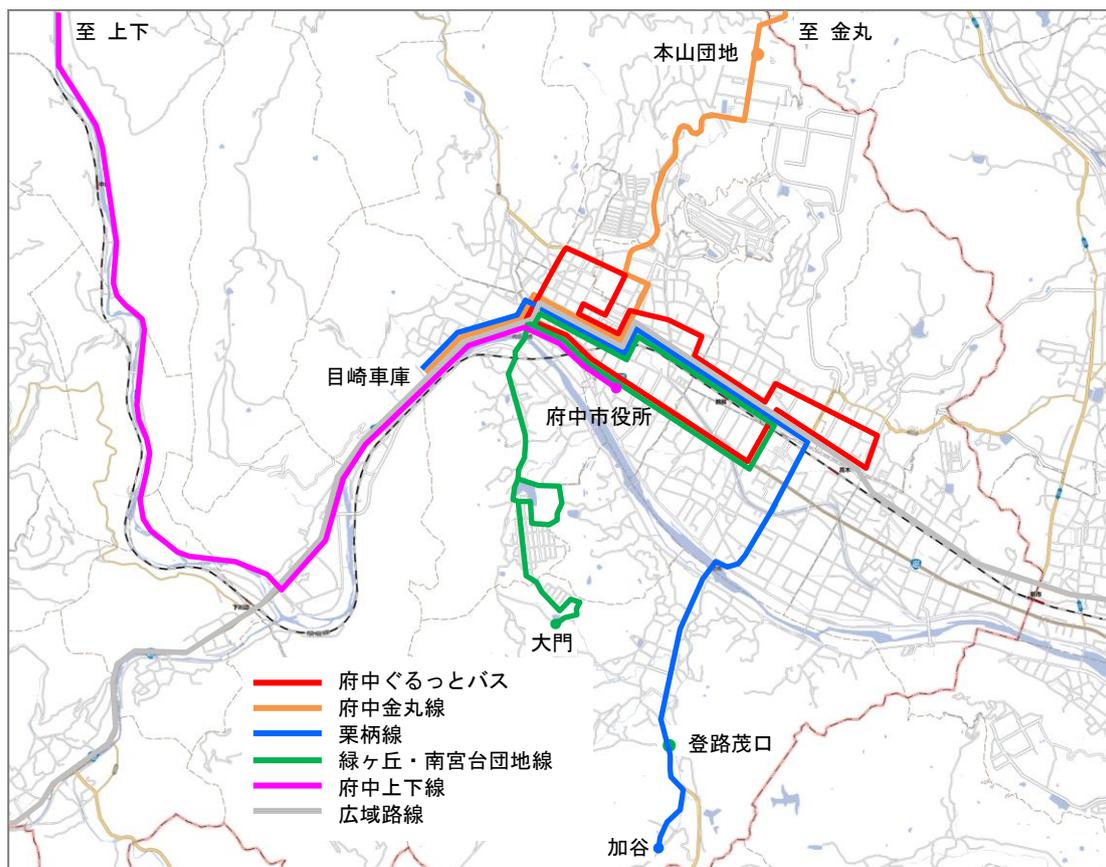


図 3-2 中心市街地周辺バス路線

(1) 府中ぐるっとバス

<現状>

先の総合連携計画に基づいて運行が開始された府中ぐるっとバスは、市役所を起点に中心市街地を時計回りで日曜・祝日を除き、1日13回循環しています。

1便平均は4.1人と、当初の予想を下回っており、利用者増に向けた取り組みが求められています。また、府中駅-市民病院間のバス停は、ほとんど乗降がなく、運行ルートの見直しも必要です。  
(25年4月～9月調べ)

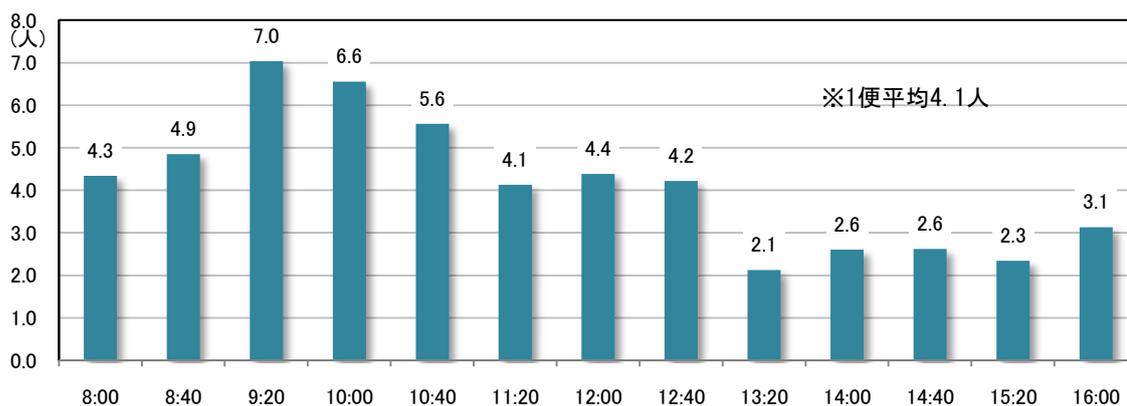


図 3-3 便別平均利用者数 (25年4月～9月調べ)



図 3-4 バス停別日平均乗降者数 (25年4月～9月調べ)

<計画概要>

- 府中駅北部の乗降の少ないバス停を整理し、運行ルートを単純化するとともに、交通不便地域の一部を解消するため、運行ルートの見直しを検討します。
- 道の駅の供用開始に合わせて、道の駅を起終点とします。

(2) 府中金丸線

<現状>

目崎車庫-本山団地と目崎車庫-金丸車庫（福山市）の2系統あり、1日7回（平日）運行しています。平均乗車密度（24年度）は、目崎車庫-本山団地0.5、目崎車庫-金丸車庫0.4と利用は低調であり、減便も必要な水準にあります。

表 3-1 府中金丸線時刻表（平日）

平日（月～金） 平成23年10月1日改正

目崎車庫 発	本 山	桜が丘 2丁目	本 山 団地上	金丸車庫 着	金丸車庫 発	本 山 団地上	桜が丘 2丁目	本 山	目崎車庫 着
7:15	—	7:27	7:31		7:11	7:23	—	7:24	7:36
7:37	7:47	—	7:50	8:02		7:31	7:33	—	7:47
12:00	—	12:12	12:16		8:03	8:15	—	8:16	8:28
13:57	14:07	—	14:10	14:22		12:16	12:18	—	12:32
16:38	16:48	—	16:51	17:03	14:23	14:35	—	14:36	14:48
17:45	17:55	—	17:58	18:10	17:06	17:18	—	17:19	17:31
18:59	19:09	—	19:12	19:24	18:15	18:27	—	18:28	18:40

表 3-2 府中金丸線運行状況（24年度）

運行系統名		キロ程 (km)	実車走行 キロ (km)	運行回数 (回)	平均乗 車密度	輸送人員 (人)
起点	終点					
目崎車庫	本山団地	6.3	8,290.8	2.0	0.5	3,555
目崎車庫	金丸車庫	9.8	16,272.0	5.0	0.4	5,085

<計画概要>

- 交通空白地域である見晴団地を經由するよう路線を延長し、交通空白地域の解消を図るとともに、路線利用者の増加を図ります。
- 府中ぐるっとバスの再編に合わせて市街地を循環する便を検討します。
- 利用状況を精査し、ダイヤを見直すとともに、低利用便は、廃止の方向で検討します。



(3) 栗柄線

<現状>

目崎車庫-加谷と目崎車庫-登路茂口の2系統あり、1日8回(平日)運行しています。平均乗車密度(24年度)は、目崎車庫-加谷0.3、目崎車庫-登路茂口0.5と低調であり、減便も必要な水準にあります。

表 3-3 栗柄線時刻表(平日)

平日(月～金) 平成22年10月1日改正

目崎車庫 発	飛屋町	府中 郵便局前	(登路茂口) 美土路着	加谷 着	加谷 発	(登路茂口) 美土路発	府中郵 便局前	飛屋町	目崎車庫 着
6:58	7:01	7:04	7:16			7:20	7:32	7:35	7:38
8:21	8:24	8:27	8:39	8:41	8:43	8:45	8:57	9:00	9:03
10:20	10:23	10:26	10:38			10:41	10:53	10:56	10:59
12:24	12:27	12:30	12:42	12:44	12:45	12:47	12:59	13:02	13:05
14:00	14:03	14:06	14:18			14:21	14:33	14:36	14:39
15:40	15:43	15:46	15:58	16:00	16:03	16:05	16:17	16:20	16:23
17:05	17:08	17:11	17:23			17:26	17:38	17:41	17:44
18:43	18:46	18:49	19:01			19:04	19:16	19:19	19:22

表 3-4 栗柄線運行状況(24年度)

運行系統名		キロ程 (km)	実車走行 キロ(km)	運行回数 (回)	平均乗 車密度	輸送人員 (人)
起点	終点					
目崎車庫	加谷	7.1	5,875.2	3.0	0.3	1,152
目崎車庫	登呂茂口	6.4	11,198.4	5.0	0.5	2,333

<計画概要>

- 府中ぐるっとバスの再編に合わせて市街地を循環する便を検討します。
- 利用状況を精査し、ダイヤを見直すとともに、低利用便は、廃止の方向で検討します。

(4) 緑ヶ丘・南宮台団地線

<現状>

大門を起終点に緑ヶ丘・南宮台団地と中心市街地を1日10回(平日)循環運行し、この内6回は府中東高校経由で運行しています。平均乗車密度(24年度)は、大門-大池・鶺鴒・大池-大門 2.5、大門-大池・鶺鴒・府中東高-大門 1.0 となっています。

表 3-5 緑ヶ丘・南宮台団地線時刻表(平日)

平日(月~金)		2005年10月1日改正										
大門発	南宮台団地南	府中東高	大池	府中駅前	天満屋前	鶺鴒	天満屋前	府中駅前	大池	府中東高	南宮台団地南	大門着
7:23	7:24	—	7:27	—	7:33	7:37	—	7:40	—	7:47	7:54	7:55
7:58	7:59	—	8:02	—	8:08	8:12	—	8:15	—	8:22	8:29	8:30
9:00	9:01	—	9:04	9:10	—	9:15	9:17	—	9:24	—	9:28	9:29
10:00	10:01	—	10:04	—	10:10	10:14	—	10:17	10:24	—	10:28	10:29
11:10	11:11	—	11:14	—	11:20	11:24	—	11:27	11:34	—	11:38	11:39
12:05	12:06	12:11	—	12:18	—	12:23	12:25	—	12:32	—	12:36	12:37
14:10	14:11	—	14:14	—	14:20	14:24	—	14:27	14:34	—	14:38	14:39
15:40	15:41	15:46	—	15:53	—	15:58	16:00	—	16:07	—	16:11	16:12
17:05	17:06	17:11	—	17:18	—	17:23	17:25	—	17:32	—	17:36	17:37
17:45	17:46	17:51	—	17:58	—	18:03	18:05	—	18:12	—	18:16	18:17

表 3-6 緑ヶ丘・南宮台団地線運行状況(24年度)

運行系統名			キロ程(km)	実車走行キロ(km)	運行回数(回)	平均乗車密度	輸送人員(人)
起点	経過地	終点					
大門	大池・鶺鴒・大池	大門	9.7	12,998.0	2.0	2.5	7,614
大門	大池・鶺鴒・府中東高	大門	10.5	20,454.0	3.0	1.0	5,013

<計画概要>

- 府中ぐるっとバスの再編に合わせて市街地区間の運行ルートを見直します。
- 2系統の乗車密度に大きな差があるため、利用状況を精査し、2系統の運行バランスを調整します。

#### 4. 西部地域の交通再編

交通空白地域の移動実態を調査し、相当のバス需要が見込まれる場合は、費用対効果を踏まえて当該地域へ府中上下線や諸田線の路線延長を検討します。

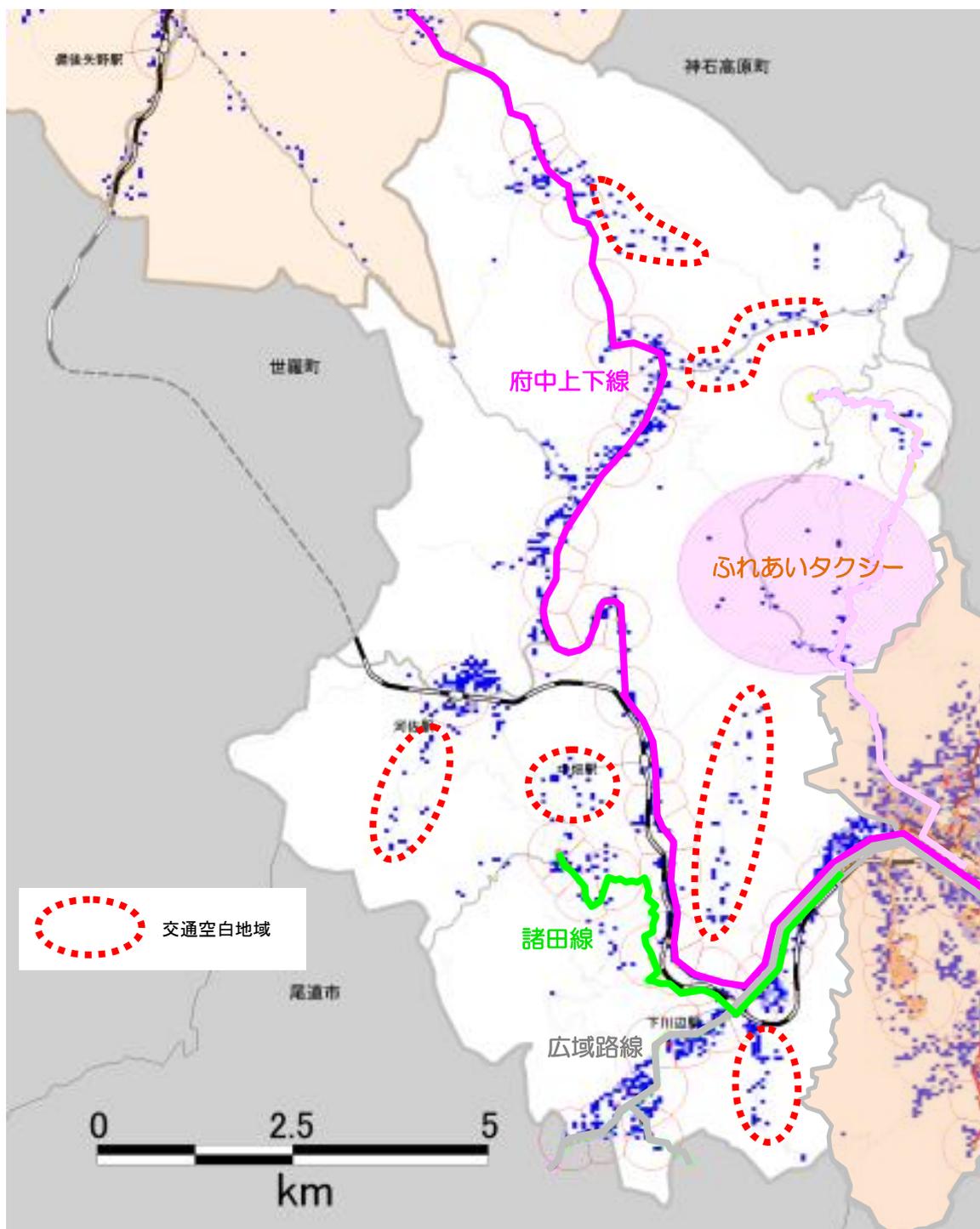


図 3-6 西部地域公共交通網と交通空白地域

(1) 諸田線

<現状>

目崎車庫-諸田農協と下川辺-諸田農協の2系統あり、1日6回(平日)運行しています。平均乗車密度(24年度)は、目崎車庫-諸田農協0.8、下川辺-諸田農協1.3、枝上-目崎車庫0.3となっており、枝上-目崎車庫、目崎車庫-諸田農協の利用は低調です。

府中明郷学園への通学利用が主であり、学校休校日は、全便運休となります。

表 3-7 諸田線時刻表

府中明郷学園休校日全便全休 平成21年4月1日改正

目崎車庫 発	府中明郷学園	諸毛着 発	諸毛 発	府中明郷学園	目崎車庫 着
7:36	—	7:58	7:59	8:13	8:21
▲12:32	12:40	12:54	▲12:57	13:13	
	▲13:16	13:32	▲13:35	—	13:57
※14:52	15:00	15:14	※15:15	—	15:37
△16:29	16:37	16:51	△16:52	17:08	
	△18:20	18:36	△18:37	—	18:59

▲印…平日授業日運行 △印…平日授業日運休 ※印…水曜日運行

表 3-8 諸田線運行状況(24年度)

運行系統名			キロ程 (km)	実車走行 キロ(km)	運行回数 (回)	平均乗 車密度	輸送人員 (人)
起点	経過地	終点					
目崎車庫	下川辺	諸田農協	8.1	5,922.4	2.0	0.8	2,692
下川辺		諸田農協	5.7	3,031.2	1.0	1.3	1,684
枝上		目崎車庫	12.1	6,027.0	2.0	0.3	1,435

<計画概要>

- 諸田町北部に広がる交通空白地域の移動実態を調査し、相当のバス需要が見込まれる場合は、曜日運行も視野に入れて当該地域への路線延長を検討します。
- 府中明郷学園への通学便については、一般混乗型スクールバスへの切り替えを検討します。

(2) 府中上下線

<現状>

上下駅前-府中市役所と福山駅-木ノ山の2系統あり、1日9.5回(平日)運行しています。平均乗車密度(24年度)は、上下駅前-府中市役所 1.7、福山駅-木ノ山 2.9 となっています。

上下駅前-府中市役所は、JR福塩線の減便により、これを補完する役割をもっていますが、運行時間帯が重複する便もあり、ダイヤの見直しが必要です。

表 3-9 府中上下線時刻表(平日)

平日(月~金)						平成25年4月8日改正					
福山 発	府中 市役所	府中郵 便局前	目崎 車庫	木ノ山	上下 着	上下 発	木ノ山	目崎 車庫	府中郵 便局前	府中 市役所	福山 着
7:10	—	8:09	7:27 8:15 10:23	7:48 8:39 10:44	8:06 11:02	6:38 7:50	6:56 8:08 9:00	7:17 8:29 9:20	— 9:25	8:34 —	10:18
11:55	—	12:45	12:00 12:51	12:21 13:13	12:39	10:05 12:45	10:23 13:03	10:44 13:24	— —	10:49 13:29	—
13:40	—	14:30	14:36 15:01 16:26	14:58 15:28 16:53	15:46 17:11	16:07 17:26	13:30 15:23 16:25	13:50 15:43 16:46	13:55 15:48	— —	14:48 16:41
18:20	—	19:10	17:50 19:16	18:11 19:38	18:29	—	17:44	18:05	—	—	—

表 3-10 府中上下線運行状況(24年度)

運行系統名		キロ程 (km)	実車走行 キロ(km)	運行回数 (回)	平均乗 車密度	輸送人員 (人)
起点	終点					
上下駅前	府中市役所	28.6	75,028.8	2.5	1.7	9,744
福山駅前	木ノ山	36.1	96,965.4	3.6	2.9	45,670

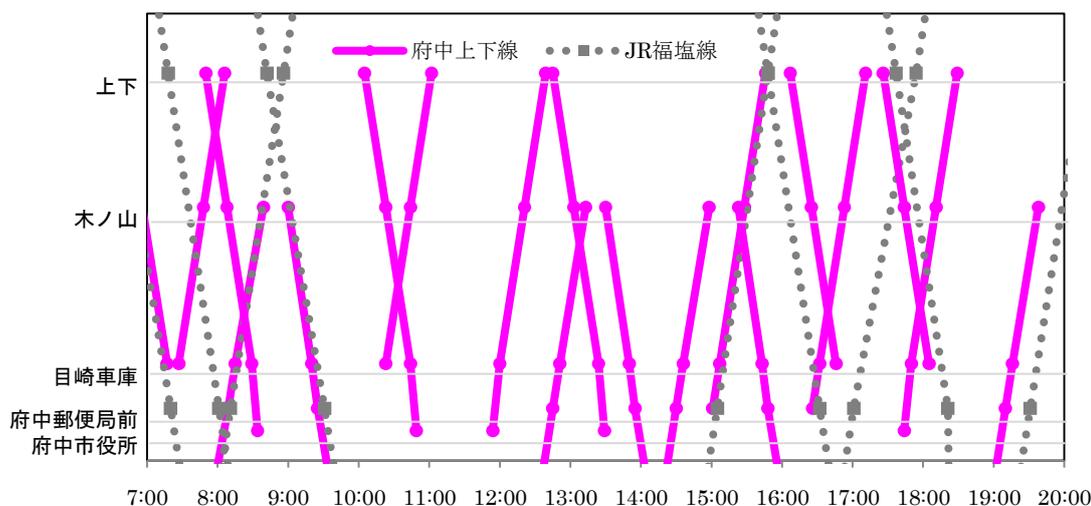


図 3-7 府中上下線・JR福塩線山ダイヤ

<計画概要>

- 木野山町、行藤町、久佐町の交通空白地域の移動実態を調査し、相当のバス需要が見込まれる場合は、一部の便について曜日運行も視野に入れて当該地域への路線延長または路線変更を検討します。
- 府中ぐるっとバスの再編に合わせて市街地を循環する便を検討します。
- 利用状況を精査し、ダイヤ、起終点を含む運行ルート全般を見直します。

(3) ふれあいタクシー（空木・荒谷）

<現状>

予約型乗合タクシーが空木地区と荒谷地区をそれぞれ運行しています。

■空木ふれあいタクシー

木野山町空木地区では、スクールバスへの一般混乗により住民の移動手段を確保していましたが、学校の統廃合によるスクールバス運行ルートの変更に伴い、これに代わる移動手段として、週1日、1日2便（行き1便、帰り1便）、定路線で運行しています。24年度は、延べ234人の利用があり、1便当たりの平均利用者数は2.5人となっております。維持基準（3人）を達成していません。

■荒谷ふれあいタクシー

週1日、1日2便（行き1便、帰り1便）、区域運行しています。24年度は、延べ135人の利用があり、1便当たりの平均利用者数は1.7人となっております。維持基準（3人）を達成していません。

<計画概要>

運行ルート上にある県道388号線沿線の出口町内の交通不便地域（荒谷町境から三室橋）を利用対象区域に加え、利用者の増加を図ります。



図 3-8 ふれあいタクシー利用対象区域（出口町）

### 5. 北部地域の交通再編

地域内交通の充実を基本におたっしゅ号の利便性の向上を図るとともに、低利用路線の見直しを進めます。

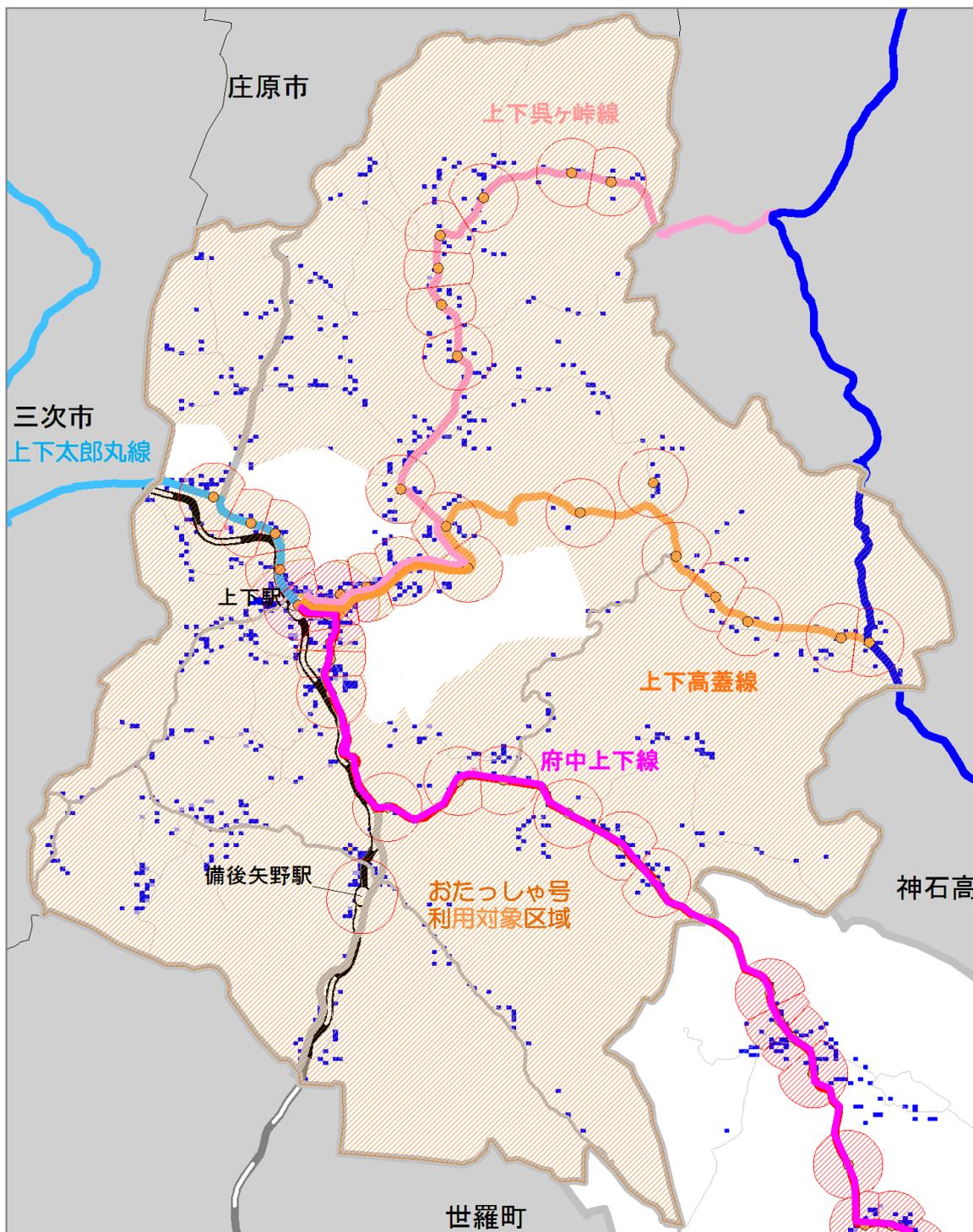


図 3-9 北部地域交通網

(1) おたっしや号

<現状>

上下地域において過疎地移動支援事業として、利用者制限を設け、無料で運行されていましたが、先の総合連携計画において見直され、利用者制限をなくすとともに有料化されました。上下地区を除く上下町全域を6地区に分け、それぞれの地区を週2日、1日2便（行き1便、帰り1便）、予約型乗合タクシーとして区域運行しています。

24年度は、延べ5,054人の利用があり、この5年間で38%減少（19年度8,128人）しています。1便当たりの平均利用者数は4.3人で、上下中心市街地から遠い矢多田・松崎（同6.0人）、階見（同5.6人）、小塚・小堀（同5.2人）方面の利用が多く、比較的近い矢野（同2.1人）方面の利用が少ない状況にあります。

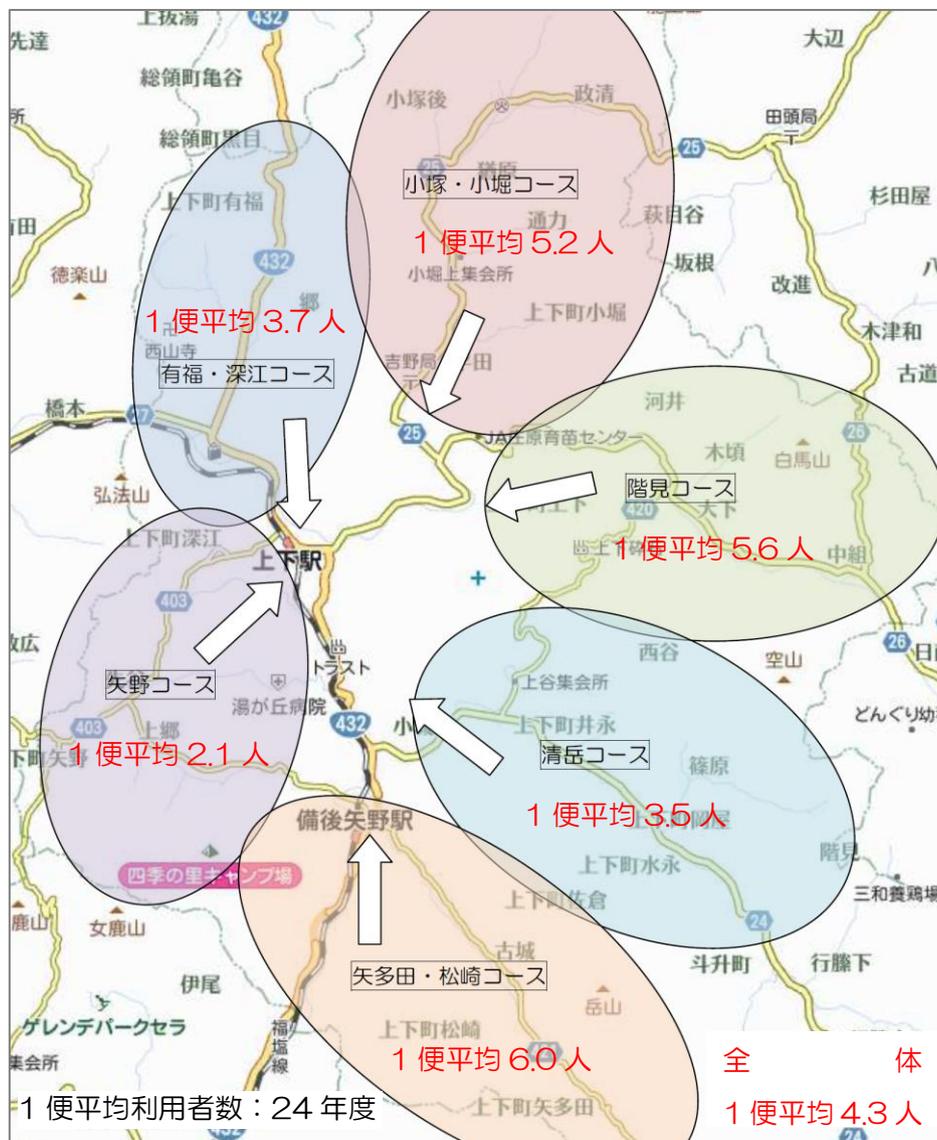
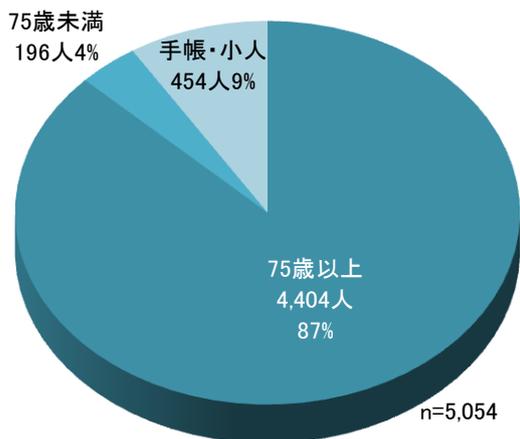


図 3-10 運行コース別利用者数/便

利用者構成は、75歳以上の後期高齢者が87%とそのほとんどを占めています。また、利用にあたって、乗降場所が下記の通り定められており、帰りの乗車場所では、北市民病院が81%を占めています。

おたっしゅ号乗降場所

往路	乗車：区域内予約者宅付近（乗車順序不定） 下車：上下町上下区域内、湯が丘病院、かがやき苑、ショッピングクロスすいすい
復路	乗車：府中北市民病院、三玉医院、田中歯科、黒木整形、上下郵便局 上下町民会館、上下駅、松山歯科、ショッピングクロスすいすい 湯が丘病院、かがやき苑 下車：区域内自宅付近



※手帳：身体障害者手帳、療育手帳、精神保健手帳を有する者

図 3-11 利用者構成

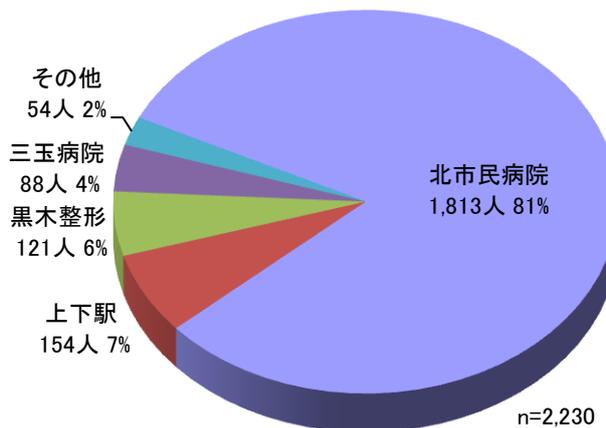


図 3-12 帰り便乗車地

<計画概要>

- おたっしゅ号利用者の上下中心部での通院・買物状況を調査し、帰りの2便化も視野に入れてダイヤを見直します。
- 上下地区を含む北部地域全域をおたっしゅ号利用対象とする方向で検討します。

## 6. 公共交通利用促進施策の展開

### (1) 運賃体系の見直し

#### ◆府中上下線

福塩線の府中-上下間料金 480 円に対し、府中上下線の同区間のバス料金は 2 倍の 950 円となっており、割高感は否めません。そのため、路線維持補助金を支出する関係自治体と協議し、福塩線と同程度の料金となるように検討します。

#### ◆市街地循環系路線

府中ぐるっとバスの再編に合わせて市街地を循環する便を検討する路線については、市街地循環区間は、ぐるっとバスと同一の定額料金となるよう見直します。

#### ◆ふれあいタクシー

ふれあいタクシーの料金は、空木 400 円、荒谷 300 円となっていますが、出口町の交通空白地域を利用対象地域とするにあたって、料金を統一します。

#### ◆運転免許返納者への運賃割引等の検討

運転免許返納者に対するバスの運賃割引などを検討します。

### (2) 公共交通情報の住民周知と意識啓発

これまで利用促進に向けた啓発活動は、ほとんど行われてきませんでした。また、公共交通の利用状況や公共交通を維持するための財政負担状況など、ほとんどの市民は知りません。

公共交通の利用促進に当たっては、先ず市民に公共交通への問題意識を持ってもらう必要があります。そのため、公共交通情報の住民周知と、住民主体の公共交通の取り組みを進めます。

#### ◆公共交通情報の住民周知

広報等により、定期的に公共交通の利用状況等を市民に周知し、市民の公共交通に対する意識啓発を図り、公共交通の利用を促進します。



◆住民主体の公共交通

計画段階から住民意見交換会やワークショップなどを開催し、地域主体の公共交通の構築に努め、地域で公共交通を守る意識を醸成します。

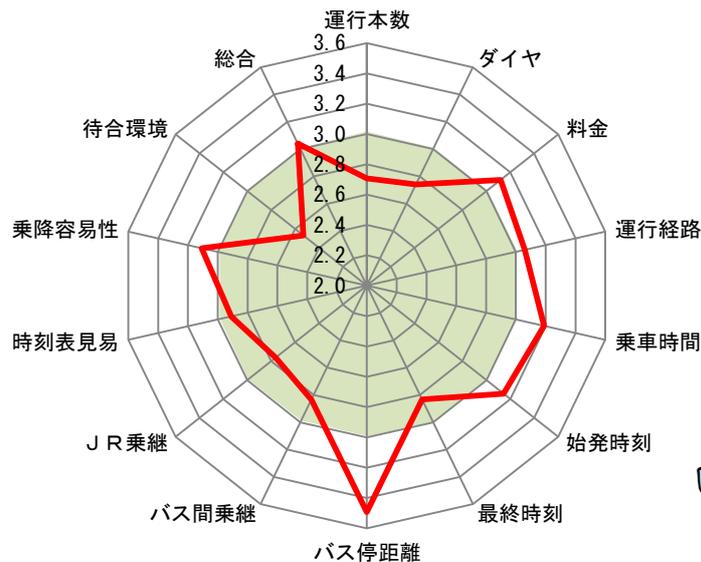


(3) 主要バス停の環境整備

住民アンケートでは、路線バスのサービス満足度において、バス停など待合環境の満足度が最も低い（不満が強い）結果となっています。

そのため、利用の多い主要バス停については、バス停の立地条件（道路・歩道の幅員制約など）を踏まえて、ベンチ、上屋等を整備します。また、バスロケーションシステムを導入するとともに、利用が多い市民病院前バス停については、病院の改築に合わせて、玄関近くにバス停を整備するなど、利便性の向上を図ります。

路線バスのサービスの満足度（路線バス利用者）



## 第4章 推進体制

計画の推進にあたっては、市民・交通事業者・行政及びその他関係機関が課題を共有し、本市の公共交通が町民の生活を支える持続可能なシステムとして確立するように計画を推進します。

事業実施にあたっては、社会環境の変化などにより町民のニーズが変化することも考えられ、運行再編の内容や公共交通を支える仕組みもより良いものに改善することが必要です。

このため、各事業の実施においてはPlan（事業の詳細計画）・Do（実施）・Check（評価）・Act（改善点の抽出）によるPDCAサイクルを導入し、適宜見直しを行い、より良い取組となるよう改善します。

具体的には、それぞれの事業の詳細計画立案および評価指標を各事業の開始の際に設定し（Plan）、それに向けた取組の実施（Do）、事業実施以降の毎年度、その取組について目標に対する達成度や新たに生じた課題・問題点の整理を行い（Check）、改善点の抽出により次年度の取組につなげていきます（Act）。

また、本計画全体に関しても、計画の中間年次、最終年次に目標指標に対する評価を行い、適宜計画全体の見直しを行います。

